昭和二十一年七月三十日第三種郵便物認可　昭和二十二年三月一日印刷納本　昭和二十二年三月五日發行　第十五卷　第三號　通卷第百七十號

EIGA NO TOMO

T. M. REG.

Magazine for American Movies ★ March 1947

Ingrid Bergman

3

映画之友

アメリカ映画専門紹介誌

Deanna Durbin
(Uni-International Star)
ディアナ・ダービン

EIGA NO TOMO

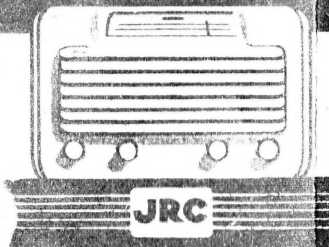
March 1947 Vol. 15 No. 3
Whole No. 170

Magazine for American Movies "Eiga no Tomo" (Movie Friend) Published Monthly by Eiga Sekaisha Ltd., Koichiro Tachibana, Publisher: Toyoshi Oguro. Executive Editor: Hiroshi Ogawa. Technical Editor: Head Office; No. 1, 2 chome, Nagatacho, Kojimachi-ku, Tokyo, Japan: Ginza Office: Izumo Bldg., No. 2, 8 chome, Ginza, Kyobashi-ku, Tokyo:

Contents for March, 1947

★

社長 橘 弘 一 郎
編集 大 黒 東 洋 士
技術 小 川 博
美術 直 木 久 蓉
　　 木 村 佳 光

Let's Learn American Culture from American Movies
アメリカ映画からアメリカ文化を學び取らう

Joan Fontaine

(RKO Radio Star)

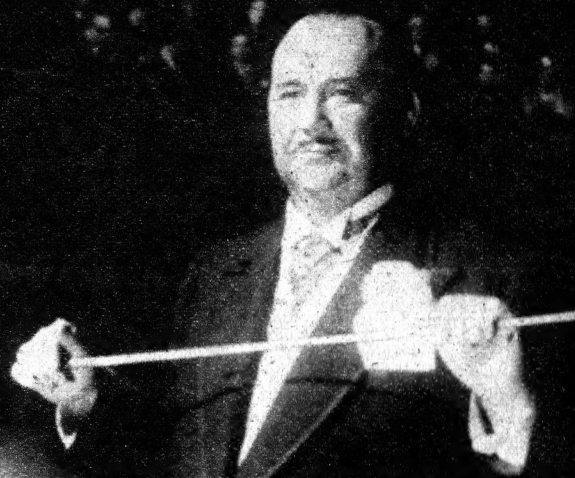
ジョーン・フオンテーンは「斷崖」と「永遠の處女」の二本で私達の前に大きくクローズ・アツプされた。彼女は「斷崖」でアカデミー賞を獲得して一躍名を成したが、彼女の清楚な美しさと傑れた演技とは日本のフアンにも多大の感銘を與えることだろう。この東京生れのスターに私達は心から聲援をおくろう！

クローデツド・コルベエルには最近二本の主演映画がある。一本は先月號に紹介した「心の秘密」“Secret Heart” で、もう一本は“Without Reservations” だ。後者はRKOラジオの作品で監督は「キユーリー夫人」のマーヴイン・ルロイ、相手役はジョン・ウエイン、女流小説家と飛行將校とのラヴ・ロマンスを扱つたものだ

Claudette Colbert

(MGM Star)

せん。そしてその結果は、當然ブルックリンの街頭を、之等の特色豊かな歌の旋律で充たす様になりました。

然し彼ジョージ・ガーシュインはこれ位の事には滿足しませんでした。彼はもつと〳〵大きな野心を持つていたのであります。そしてこの彼の大野心に、ポール・ホワイトマン主催の演奏會が、最初の良い機會を提供して呉れました。即ち此處で、「ラプソディ・イン・ブルー」は、一九二四年未曾有の成功を博し、多くのアメリカ聽衆を有頂天にしてしまいましたし、多くの眞面目な作曲家達には驚異の眼を瞠らせました。そして其等の人々の中で最も仰々しい賞讃を惜しまなかつたものの二人と、最も酷評を下したものの、二人、これ等の人々は英國から現はれました。即ち一九二五年、有名な英國の指揮者であるアルバート・コーツは、ガーシュインが一九二五年に發表した「ピアノ協奏曲へ調」を、之迄のあらゆる時代を通じて、最優秀音樂作品五十曲の中の一曲に値すると述べて居ります。そして又スタンレー・R・ネルスンは、彼の著書の中で「ラプソディ・イン・ブルー」中のチャイコフスキー的エスプレッシヴォの主題に就いて、「私にとつては、この典雅な調子はあらゆる音樂の中で最も胸を打つものゝ一つである。」と言つて居ります。これと反對にウイットに富んだ英國の青年作曲家コンスタント・ラムバートは、矢張りこの「ラプソディ・イン・ブルー」に關して次の樣に非難して居ります。即ち「この曲は、ジャズ音樂の減入るが如きマンネリズムと、十九世紀的幻想曲のあらゆる無形式性との統合に他ならない」と。然しこのコンスタント・ラムバートの非難の少くとも半分丈でも充分正しいとは誰しも認めなければなりません。

ポール・ホワイトマン

ガーシュインのシムフォニックな領域に於いての第二の冒險は、ニューヨーク交響樂團とワルター・ダムロッシュに依つて試みられました。これは即ち、一九三五年作曲の「ピアノ協奏曲へ調」でありました。「ラプソディ・イン・ブルー」の場合は、そのオーケストレーションは、かの有名な「大峡谷」の作曲家である、フェルド・グロフェーの手で爲されましたがガーシュインは自らシムフォニー・オーケストラ・作曲家に迄到達した今となつては、自らの手でオーケストレーションを爲すべく決心しまのた。この樣にして完成した「ピアノ協奏曲へ調」は、ワルター・ダムローシュ指揮の下にニューヨーク交響樂團に依り、ピアノのパートはガーシュイン自らそのパートを受持つて演奏されました。指揮者ワルター・ダムローシュの優雅な注意と、ガーシュインの素晴らしい演奏技巧にも拘らず、この「ピアノ協奏曲へ調」は、先の「ラプソディ・イン・ブルー」程の成功を収める事が出來ませんでした。然し暫らくは、その可成りの通俗性は充分喜ばれました。「パリのアメリカ人」も亦、ダムローシュ博士の爲に書かれたものであつて、この曲は、ブロッホ作曲の「アメリカ」の初演に際して同じプログラムの中に發表されました。矢張りこの「パリのアメリカ人」の中でも、ガーシュインは彼のいつもの用い慣れた手に良くマッチした主題を選び非常にチャーミングで愉快な書き振りを示しています。この曲の持つてゐるものは、ユーモアと陽氣さとでありこの二つのものは、ジャズが最も

オスカー・ラウエント

映画ファン・メンタルテスト

左の質問に答えられますか？（解答は23頁にあります）

1 オールド・ファンには懐しい名画「モロッコ」「ラヴ・パレード」「或る夜の出來事」の三本が日本で封切られたのは何年前のことでしようか？

2 左記の女優は全部アカデミー女優演技賞を獲得した女優ですが、彼女達が同賞を得た作品は何か、その作品名を擧げて下さい。クローデット・コルベエル、ベテイ・デヴィス、ヴィヴィアン・リー、ジンジャー・ロジャース、ジョーン・フオンテーン、グリア・ガースン、イングリッド・ベルクマン、ジョーン・クロフオード

3 タイロン・パワー、ロバート・テイラー、ハムフリー・ボガート、バージエス・メレディスの夫人はそれ〴〵著名なスターですが、誰ですか？

4 映画はじまつて以來、最も興行成績の良かつた作品は何か？

5 左記の歴史上有名な科學者、政治家、音樂家に扮した俳優は誰ですか？ ルイ・パスツール、エーリツヒ、トーマス・エヂソン、キユーリー夫人、エイブ・リンカン、ジョージ・ガーシユイン

6 「極樂闘牛士」でお馴染みの極樂コンビ、ローレル、ハーデイは「姓」だけを呼んだものですが、この二人の「名」はなんといゝますか？ またこの二人のうちどちらが肥つちよでどちらがチビか解りますか？

特輯・新着映画紹介(1)

18巻の音樂映画『アメリカ交響樂』(ワーナー・ブラザース映画)はどんな映画か

Rhapsody in Blue

「アメリカ交響樂」を見るファンへ

登川直樹

いま、アメリカは國民音樂の創生期にある。うすつぺらな輕音樂でもなければ、しかつめらしい純音樂でもなく、新大陸のひろびろとして自由な、そして獨自な人間社會の風土が培い育むそれ獨特な音樂が生み出されつゝある。

この大事業が今日まで進められて來た背後には、多くの人たちの並々ならぬ苦難と努力のいとなみがあつた。**ジヨージ・ガーシユイン**は、そのいとなみを最もたくましく美しく生きぬいた一人である。

この映画は、ガーシユインの少年時代から、彼の死後の追悼演奏までを描き、夢に生きた家庭的な少年時代や、戀愛や、純音樂えの憧憬や、旺盛な作品活動を物語つている。彼の歴史的な作品は、絢爛たる舞台を通してみるものゝ心を倦かずたのしませるが、

ロバート・アルダとジョーン・レスリー

何よりも重要なことはそのはなやかな活躍がいつもいつわりのない自己告白のあらわれにほかならないということである。彼は決して世の大衆に媚びへつらう流行作曲家ではなかつたし、古曲音樂に安住する演奏家でもなかつた。どちらでもなくまたどちらにもある尊いものを純粋な心のもとめるままにねがつて、それに一途につきすゝんでいつたのが、ガーシユインをして今日、アメリカ國民音樂の母と言わしめる所以である。

その點を考えてこの映画をみると、これが決して單に大がかりな音樂映画であるばかりと言えないことがわかるであろう。

アル・ジヨルスンや**ポール・ホワイトマン**など現代アメリカの一流音樂家の出演は見ものだし、**レオ・フオーブスタイン**の音樂監督も見事だが、そればかりでは決してない大きな感興を呼ぶのは、トーキーの開拓者ウォーナー・ブラザースの名プロデューサー、**ジエス・ラスキイ**の「音樂映画」觀によるのであろう。

アル・ジヨルスン

ジヨージ・ガーシユインとアメリカ近代音樂

牧定忠

アメリカ近代音樂界の巨匠と仰がれたジヨージ・ガーシユインは生粋のニユーヨークはブルックリン兒であります。

一八九八年九月二十六日に孤々の聲を擧げたジヨージは、十三歳の時からチャールス・ハムビッツアーにピアノを、そしてエドワード・キレニーにハーモニカを學びました。そして十六歳になると、ニユーヨークのJ・H・レミック會社に職を奉じ、同時にルービン・ゴールドマークに就いて作曲を學びました。すると間もなく歌を作曲し始め、やがて輝やかしい名聲を獲ち得る運命に向つて行きました。彼ジヨージが、この樣な輝やかしい名聲を獲ち得ると同時に世間から著しい注目を惹き始めたのは、彼の音樂のリズムや調子やハーモニーが隨分自分勝手で突拍子の無い點があつたからに外なりま

居りますが、彼ガーシュイン程、個性的で獨創性の强大な音樂家と云うものは、それ程澤山は見出されません。否寧ろ彼一人だと云つても過言ではないかも知れません。

尙ジョージ・ガーシュインの主要な作品丈を列擧して見ますと次の様なものであります。（前頁）

最后に御參考迄に、映画ラプソディ・イン・ブルー中に挿入されて居ります音樂、——勿論ガーシュインの作曲になるもの——の名前を列擧しますと次の樣であります。（前頁）

（筆者・放送局音樂部長）

映画の主演者三人

新人紹介

ロバート・アルダ Robert Alda

「ラプソディ・イン・ブルー」に主演したのが二十九才、この映画は一九四五年度作品であるから今年は卅一才と云うわけである。映画經驗なく抜き打に一躍こんな大作の主演に選ばれた珍しい幸運兒である。と云うのは、この映画は云うまでもなくジョージ・ガーシュインの傳記映画でありガーシュインは餘りにもアメリカ市民には有名であり知りすぎる程の親しい人である。そこでウオーナー・ブラザース社長ジャック・ワーナーも製作者J・L・ラスキイも有名スターにやらしてはガーシュインのイリユウジヨンはこわれてしまう、いつそ無名の新人を、と決心した時は既に脚本もでき上つてからの事である。だから紐育の舞臺からロバート・アルダが呼ばれた時はすべての準備が終つてゐた時だつた。彼はガーシュインと同じく紐育つ子であるが父は伊太利人、母はアメリカ人、最初は建築技師として勉學したが途中から音樂の方面へ希望を持ち、特にバリトン歌手として認められマンハツトンの音樂競演會に入賞ののち一九三二年にはラジオ地方版放送に出演、ついでナイト・クラブの舞臺に招かれると云つた具合に紐育百貨店の會計係りをしてゐた彼もだん〳〵音樂方面のくろうとなつて、二十一才の時にはバアレスクの舞臺に立つようになつた。そして一九三八年にハンク・ヘンリイと呼ぶバアレスクの人氣者とコンビとなり各地を巡演、紐育の一流舞臺に立つようになつたが、一九四二年にハンクが入隊したので彼は相手を失ひ一人となつてナイト・クラブへ舞い戻つた。彼を見出したのはジャック・ワーナーの助手のスティヴ・トリリングで、このスティヴと云う男はかつてウオーナーのスター探し、配役係りを受持つていた人だ。ロバート・アルダはこのデヴュー映画についで「シンデレラ・ジョーンズ」「五つの指を持つた野獣」等の主演映画がある。

ジョーン・レスリー

ロバート・アルダ

アレキシス・スミス Alexis Smith

ワーナー・ブラザース自慢の美人新人で「永遠の處女」にも、ボアイエ、ジョーン・フォンテインと共演している。カナダ生れの彼女は十才の時に既にピアニストであり十一才の時には歌も踊りもお客を吃驚させる程上達し、十三才の時にはハリウッド野外大劇場ハリウッド・ボオルで踊つて人氣を博した。映画入りしたのは二十才の時である。一九二一年六月八日生れ、英國人であるが祖父はカナダとアフリカで金礦を發見した人であり父は食料會社の重役である。だから生活は豐かすぎると云う少女時代を過している。その品が今も彼女のパアスナリテイとなつている。早くから兩親と共に、ハリウッドへ移つてきてハリウッド・ハイ・スクールの演藝會でも、ロサンゼルス女學校の演藝會でも常に花形スターだつた。その彼女をワーナー・ブラザースの俳優係りが見つけて映画界へ招いた。第一回出演はエロール・フリン

良く取扱ひ得るものであります。そしてその筋は、――家を離れて三千哩、一アメリカ人（多分作曲家自身のこと）の冒険である――「憂鬱な」気分、即ちブルースの主題で始まり、これはガーシュインの最も幸福なインスピレーションの一つを示して居ります。

一九三二年二月五日には、ガーシュインは、彼のピアノと管絃樂の爲の「ラプソディ第二番」を、ニューヨークのカーネギー・ホールでセルゲ・クセヴイツキー指揮の下にボストン・オーケストラと共に獨奏しました。

この第二番のラプソディは、「ラプソディ・イン・リヴェッツ」と云ふタイトルを持つて居り、「ラプソディ・イン・ブルー」よりも、もつと優れたオーケストレーションを持ち、彼の音樂としては、もつと發展させられたものを持つて居ります。然し「ラプソディ・イン・ブルー」の方が、この第二番のラプソディよりも、もつと個性を持つて居り、音樂作品としてももつとオリヂナリティを持つて居ります。

以上のものよりも、もつと大きなスケールを持つて書かれた、ガーシュインの作品に、歌劇「ポギーとベス」があります。之れはデュー・ボースとドロシー・ヘーワードの作になる劇「ポギー」（ニューヨーク・シアター・ギルドに依つて一九三五年秋アルヴィン座上演）を台本としたものであります。これはオペラ劇場の爲めに作曲されたものでは無く、普通の劇場の爲めに書かれたジャズ・オペラなのであります。そしてその意味からして、ミュージカル・ショーとしての成功は、その音樂的成功のみに依るものではありませんでした。我々はこの歌劇を現在レコード丈で知る外ありませんが、その音樂の美しさ丈はこれで充分察する事が出來ます。

アン・ブラウン

ヘイセル・スコット

この外彼の作品は、數多くレコードに成つて、我々の耳に慣れたものも澤山あります。

それ等の凡てはジャズ作曲家としてのガーシュインと言ふよりも寧ろ、近代アメリカ音樂を確立したと言ふ點に、尚狹義に云へば、就中シムフォニック・ジャズの完成者と言ふ點に、彼の眞の功績はあつたと言ふ事が出來ます。

然し、惜しい哉、一九三七年七月十一日、まだ〳〵これから大いに働けると言ふのに、彼はその輝やかしい生涯を終えたのでありました。

彼の後にも先にもアメリカには數多くの有能な作曲家が輩出して

Presentation by George Gershwin From The "Rhapsody In Blue"

映画「ラプソディ・イン・ブルー」に挿入されたガーシュインの作品

"Rhapsody In Blue"
"The Man I Love"
"Embraceable You"
"I Got Rhythm"
"Swanee"
"Do It Again"
"Somebody Loves Me"
"Lady Be Good"
"135th St. Blues"
"Clap Yo' Hands"
"Fascination' Rhythm"
"Someone To Watch Over Me"
"Mine"
"Delicious"
"S' Wonderful"
"Concert In F"
"Love Walked In"
"Yankee Doodle Blues"
"Poagy & Bess"
"Summer time"
(Background Music)
"Nobody But You"
"I Was So Young And You Were So Beautiful"
"Looking For A Boy"
"Drifting Along With The Tide"
"I Found A Four Leaf Clover"
"Sweet And Lowdown"
"I'm Bidin' My Time"
"Liza"
"I'll Build A Stairway To Paradise"
"My One And Only"
"An American In Paris"
"Cuban Overture"
"When You Want 'Em You Can't Get 'Em,"
"Side Walks of New York"
From The "Shall We Dance"
"Shall We Dance"
"Let's Call The Whole Thing Off"
"They All Laughed"

Gershwin's Principals Works.

ガーシュインの主要作品

ORCHESTRAL (管絃樂作品)

"Rhapsody In Blue" 1924
"Piano Concert in F" 1925
"Prelude" 1926
"An American In Paris" 1928
"Second Rhapsody" 1931
"Variations on 'I Got Rhythm'" 1934

OPERA (歌劇)

"135th Street Blues ("Blue Monday") '23
"Porgy and Bess" 1935

THEATRE (ミユージカル・ショー)

"La La Lucille" 1919
"A Dangerous Maid" 1921
"Our Neil" 1922
"Little Miss Bluebeard" 1923
"Rainbow Revue" 1923
"Lady be Good!" 1924
"The Primrose" 1924
"George White's Scandals" 1920-24
"Tip Toes" 1925
"Song Of The Flame 1925
"Oh, Kay" 1926
"Funny Face" 1927
"Strike Up The Band" 1927
"Preasure Girl" 1928
"Girl Crazy" 1930
"Of Thee I Sing" 1931
"Pardon My English" 1932
"Let 'Em Eat Cake" 1933

FILMS (映画)

"Shall We Dance?" 1937
"A Damsel in Distress" 1937
"Goldwyn Follies" 1937

の前には、きまつて十才位の男の子が、熱心に聽き入つてゐるのだ。毎日子供は五仙を投じては同じ曲を聽く、金がなくなると、持つてゐる獨樂を店主に買つてくれなどとせがむ。店主は何回となくルービンシュタインをきかされて閉口する位だつた。その男の子供はジョージ・ガーシュインといつた。

ジョージが兄のアイラと一緒に外から、アパートへ歸つて來た時ピアノが自分達の家の窓へ、吊られて運びいれるのを見た。だからジョージはピアノが欲しかつた。だからピアノを家で買つたことは夢中になるほど嬉しかつた。だがそのピアノは、兩親が兄のアイラに練習をさせるために月賦で買つたものだつた。ジョージはピアノの前に腰かけると、ルービンシュタインの曲を弾き出した。ピアノを習つたことがないこの子がどうして――と兩親はジョージの指捌きをみて驚いたが、ジョージは毎日自動ピアノの鍵盤を見詰めて、キイの動きを覺えこんでしまつてゐたのだ。音樂に對するわが子の才能を認めた兩親は、ジョージに先生についてピアノの練習をさせることになつた。

ジョーン・レスリー

ジョージ・ガーシュインは十八才になつた。八年間の精進は、彼の技柄を磨いて、有名なピアニストであるフランク教授の弟子として入門することが許されるほどになつた。フランク教授はウインに生れ、ブラームスに師事したことがある人で、古典に對する造詣が深かつた。彼は、ガーシュインに古典の研究を薦めたが、ガーシュインには、古典だけに滿足出來ないところが見受けられた。何か新しいものえの憧れ、自分の生活に即した獨創性のあるものを、ジョージは求めた。彼が弾く自作の歌曲を聽いて、フランク教授は、ガーシュインの中に、古きものと新しきものとの混合を認めたが、その新しいものには理解が持てなかつた。そしてジョージが生活のために安つぽい客席の補缺のピアニストになつたことや、彼がショウ音樂へも慾望を持つてゐることが些か不滿だつた。しかし彼の人柄と才能を愛し、彼の將來に望みを抱いて、不遇であつた自分の過去の慰めにするのだつた。

ジョージは舞台の藝人に嘲けられたので怒つてその職を止め、それからレミック樂譜出版會社の賣子に雇はれた。彼は毎日ピアノを弾き、會社の歌を歌ひ、そして客に樂譜を賣つた。ある日のこと、美しい女客が現われた。彼女はコーラス・ガール志望の女で美しい聲を持つてゐた。彼は會社の樂譜をそつちのけにして、自作の「スワニー」を教え果ては二人で合唱し出した。これを聞いた社長は大いに怒つて彼を解雇した。ジョージは、「私のために――」と詫びる彼女の幸運を祈つて別れた。別れしなに彼女は、ジュリー・アダムスだと名乘つた。

ジョニーの母は、音樂は趣味としてはいゝが生計の道としては危ぶまれるので、他の仕事を見つける樣に云つたが、父親は、彼の音樂に對する情熱と遠大な志望を知つて却つて激勵した。ジョニーは自作の歌「スワニー」を持つてハームス出版會社の社長マックス・ドレイファスに會ひに行つた。その待合室で彼は同じく曲を賣込みに來たオスカー・レヴァントとい

映画を彩る一流藝術家とエピソード

♣この映画で特筆すべきことは、ジョージ・ガーシュインの傑れた音樂を描くに當つて、ガーシュインとは緣りの深い一流藝術家が、大擧出演していることだ。私達とも既に馴染みの深い歌手の、**アル・ジョルソン**、指揮者の**ポール・ホワイトマン**、音樂喜劇の有名なプロデューサーで、ガーシュインの音樂を使つていくつかの著名な音樂喜劇を提供している、**ジョージ・ホワイト**、それに次ぎに紹介するピアニストの、**オスカー・ラヴエント**、黒人歌手でありピアニストである**ヘイゼル・スコット**、同じく黒人歌手の**アン・ブラウン**ダンサーの**トム・パトリコラ**等がガーシュインを偲び乍ら、思い出の曲を演ずる數々の場面は、けだしこの映画の大きなみものであるといえる。

♣この映画の最初の方で「スワニイ」を歌う**アル・ジョルスン**は有名な（黒人に扮して舞臺に立つ）ジャズ・シンガーであるが、彼はこの「スワニイ」を歌うに當つて、今をさる三〇年前、彼が自分のミュジカル・ショウ「船乘りシンバッド」に於て初めてガーシュインの新作を檜舞臺に紹介した、その思い出の、當時の服、ネクタイ、靴を再び着用して撮影に當つた。すつかりセンチメンタルとなつたアル・ジョルスンは當時の「スワニイ」が彼とガーシュインの親交を深めた思い出をよみがへらせてホロリとしたそうである。ウォーナー・ブラザースが彼の出演料を訊いた時、彼は言下に「一錢もいらんですョ」と叫んだと云う。

♣新人**ジョーン・レスリイ**と「サムボデイ・ラヴズ・ミイ」を踊る**トム・パトリコラ**。少し詳しく說明すると、パート型のレースの中から踊り出る大柄の縞の上着をきた青年、幾歳だと思います二十四、五歳ぐらいのアメリカ青年に見えるでしよう。ところがトム・パトリコラは今年五十二歳。三年前に引退してタップ・シュウズを捨てたが、ガーシュインの映画化に彼のダンス・ナムバアの舞臺をダブル（代役）でと云う會社の申しこみに、とんでもないと彼自身飛び出してきた。彼は澤山のガーシュインのダンス曲に踊つた人だが、その相手役はウィニイ・ライトナア等が演じていて、この映画の相手役ジョーン・レスリイは當時はまだ生まれていなかつた。

♣**ポール・ホワイトマン**は一九二四年にエォーリアン・ホールでガーシュインの「ラプソデイ・イン・ブルー」を指揮したが、再びその撮影に當つて、全くその當時そのまゝのセットと雰圍氣にすつかり胸をつまらせて朝食もランチも咽喉を通らなかつた。そしてこの映画は當時のホワイトマン樂團の人々、今は各地に一家をなしてゐる、クラリネットのアル・ガロドール、トランペットのヘンリイ・ビュース、その他ヴァイオリン、バンジョー、サキソフォンと當時の演奏者が全部集められたと云われてゐる。ホワイトマンが感慨無量となつたのも無理からぬことである。

♣**オスカー・ラヴエント**――彼自身がこの映画で演じてゐるように、彼は實際のガーシュインの親友であるピアニストだが、彼がこの映画に使用してゐる腕時計は一九三二年にガーシュインが彼に贈つた思い出の時計である。

♣**ロバート・アルダ**は此の映画に於て三十九着の服を使用する。これは男優のレコード。

♣黒人歌手でありピアニストである**ヘイゼル・スコット**はこの映画で自分のピアノ（ガラスの蓋のついたグランド・ピアノ）を使用している。この映画では英語とフランス語で唄うが、彼女は七ケ國語に堪能であり、支那の歌も唄う。紐育で教育を受け二十三歳で一流歌手となつた。尚彼女はクラシックをジャズに編曲するのが巧い點でも知られている。

♣劇中に演じられる「**ポギーとベス**」は當時の上演に當つて、その演出を受持つたのは**ルウベン・マムウリアン**であつた。尚この映画の中の「ポギーとベス」でベスを演じる**アン・ブラウン**は優秀な黒人歌手で、彼女はベスを演らしたら天下一品という折紙がつけられている。

♣主役の**ロバート・アルダ**はレイ・ターナーというピアノ教師にガーシュインのピアノ演奏における指の動きを習つた。レイはガーシュインとピアノを一緒に習つた人であり、數年間ホワイトマン樂團のピアノ演奏を受持つていた。

といきなり共演の「ダイブ・ボンバー」、これについで「笑ふ幽霊」「ステイル・アゲインスト・ザ・スカイ」「永遠の魔女」に出演、この四番目の作品でスターとなつた。この他「ハリウッド・キヤンテイーン」「ジエントルマン・ジム」「マーク・トウエンの冒險」「コンフリイト」「ワン・モア・ツモロウ」近作にはケイリー・グラント共演の「夜も晝も」がある。

ジヨーン・レスリイ Joan Leslre

一九二五年一月二十六日ミンガン、デトロイト生。十六才でゲイリー・クーパーの相手役をした女優。「ヨーク軍曹」撮影中クーパーはこの相手役に十六才の誕生日のお祝いを贈つたそうである。彼女は本名をジョーン・ブロデルと呼び彼女の姉のメリイとベテイも踊り好きで歌が上手、その上、驚いたことに小さなジョーンは僅か二才の時（あちら流で二才、日本では三才か四才）、子供芝居の舞臺に立つて歌つた。そんなわけでこの姉妹三人は子供芝居の花形となつて各地に迎えられ、その末つ子のジヨーンは、ワーナー・ブラザースと契約し、ハリウッドの演技學校を卒業の上、ジヨーン・レスリイと變名した。と云うのは既に有名なジヨーン・ブロンデルと餘りにもまぎらわしいからである。彼女は最初テストの意味でM・G・Mへ借りられてガルボとテイラーの「椿姫」に出演、ついでパラマウントの「翼の人々」、「ユナイトの「ウインタア・カーニヴアル」、ヒッチコックの「海外特派員」、その後、ハムフリイ・ボガードの「ハイ・シエリア」では遂に彼の相手役に抜擢された。いずれも彼女のまだ十六才になる前の作品だ。更にクーパーと「ヨーク軍曹」、キヤグネイと「ヤンキイ・ドードル・ダンデイ」、その他フレッド・アステア、ロナルド・リーガン等とも共演近作には「シンデレア・ジヨーンズ」がある。

物語「アメリカ交響樂」

尾坂力

配役

ジョージ・ガーシユイン……………ロバート・アルダ
ジユリー・アダムス……………ジヨーン・レスリイ
クリステイーン・ギルバート……アレキシス・スミス
マツクス・ドレイフアス………チヤールズ・コバーン
フランク教授……………アルバート・バツサーマン
ガーシユインの父………モーリス・カーノフスキー
ガーシユインの母…………ローズマリ・デキヤムプ
アイラ・ガーシユイン……ハーバート・ラツドリイ
リー・ガーシユイン…………ジユリー・ビショツプ
その他自身を演ずる者――ポール・ホワイトマン、アル・ジヨルスン、オスカー・レヴアント、ジヨージ・ホワイト、ヘイゼル・スコツト、アン・ブラウン、トム・パトリコラ

解說

アメリカ音樂に最もアメリカ的要素を與へ、その音樂史に金字塔をたて、若くして逝つた作曲家**ジヨージ・ガーシユイン**の、これは傳記映畫である。製作者**ジエシイ・L・ラスキー**は、「ヨーク軍曹」に次いで、「マーク・トウエンの冒險」に次いで第三番にガーシュインの傳記を選んだ。**ソニア・レヴイエン**の原作を、**ハワード・コツク、エリオツト・ポール**の二人が脚色した。監督はダイアローグ監督から演出に轉じ「情熱の航路」「小麥は綠」「マーク・トウエンの冒險」の監督に當つた**アーヴイング・ラツパー**。撮影は同じく「情熱の航路」「小麥は綠」の**ソル・ポリト**、管絃樂編曲には、**レイ・ハインドーフ、フアード・グローフ**が當り舞踊振付及び指揮には、**ルロー・イ・プリンツ**が當つた。

ガーシェインを演ずる**ロバート・アルダ**はこの映畫が最初の新人で、ヴォードヴィルで働いてゐたが、既製スターの個性がガーシユインを表現するのに不適當であるとして、新人を探してゐたらワーナーに見出され、この巨作に、主役を振り出しられたのである。相手役の**ジヨーン・レスリー**もわが國へ初めて紹介される新人であるが、新にハンフリー・ボガートとアイダ・ルピノ共演の「高きシエラ山」、ゲイリー・クーパーの「ヨーク軍曹」ジエームス・キヤグニイの「ヤンキー・ドウードル・ダンディ」アーヴイン・バーリンの「これが陸軍」等に出演してゐる。又**アレキシス・スミス**はエロール・フリンの「急行下爆撃機」「紳士ジム」を經て「コンスタント・ニンフ」「マーク・トウエンの冒險」「闘爭」に出演した新人である。助演者としては「コンスタント・ニンフ」「キングス・ロウ」等の**チヤールズ・コバーン**、ニューヨークの舞臺から來た**ハーバート・ラツドリイ**がいる。その他特筆すべきことは、ガーシュインと關係があつた樂壇、劇界の有名な人々が、彼等自身として出演してゐることである。即ちガーシュインの曲「スワニー」を流行させた有名な歌手**アル・ジヨルスン**、ガーシユインの年來の親友であり生活を共にしてゐたピアニストであり且つ映畫俳優としての經驗を持つ**オスカー・レヴアント**、ジャズの王として餘りにも有名な**ポール・ホワイトマン**、華麗なレヴューを見せる「スキャンダルス」の**ジヨージ・ホワイト**、黑人歌手**ヘーゼル・スコツト**と**アン・ブラウン**、ヴォードヴィリアンの**トム・パトリコラ**等の人々がそれである。

映畫の中に使はれてゐる曲は、ガーシュインの一六〇の作曲の中から、二十九曲が選ばれ、その中十八曲を主として扱い、他の十一曲は背景をなす伴奏音樂として使はれてゐる。その曲の中には、彼の代表作である「ラフソディ・イン・ブルー」「協奏曲ヘ調」「巴里の米國人」等の管絃樂を始め歌劇「ポージイとベス」歌謠曲として の出世作「スワニー」最後の作曲「歩み入る戀」等が含まれてゐる。十八卷。

梗概

ニユー・ヨークの下町の安つぽい店から、いつも自動ピアノでルービンシュタインの「ヘ調のメロディ」が流れて來る、そのピアノ

アレキシス・スミスとロバート・アルダ

ある音樂を捨てねばならないかと深く苦しみにとらえられた。
　それから兄やオスカーに薦められて、ジョージは一同とハリウッドに移り住んだ。加州の氣候が彼の病氣を癒すかと思われたからだつた。
　ある日ビヴァリー・ヒルスの彼のところへ思ひがけなくジュリーから電話がかゝつて來た。彼女は常に遠くからジョージの幸運を祈りつゞけてゐたのだつたが、彼が病氣で惱んでゐることを知ると、耐らなくなつて電話をかけたのだつた。彼女は今こそ彼のために自分が必要だと思つた。不幸なジョージを慰め溫い愛情で彼の指のしこりを解きほごそうと決心した。
　ジュリーが飛行機で直ぐ出發すると聞いたジョージは飛上るほどに喜んだ。兄達も、彼が久しぶりに聞い笑い聲を響かすのを樂しげに聞いた。しかも彼がピアノに向つて最近の作の「歩み入る愛」を歌ひながら彈いた時、その指さばきが、もと通りに滑らかに動くのを知つて驚いた。ジュリーの來る嬉しさが、彼の神經をやわらげたのに違いなかつた。しかし一同が安心した時、突然ガンとピアノが鳴つて、ジョージは床へ倒れてしまつた。それは一九三七年七月十一日のことであつた。
　ニュー・ヨークで親友のオスカー・レヴァントが管絃樂團と共にガーシュインの「協奏曲ヘ調」のピアノ・ソロをしてゐる時、一通の電報が配達された。それは、ジョージ・ガーシュインの死の通知であつた。指揮者は、悲痛な聲で彼の死を聽衆に知らせ、「偉大なる作曲家を偲んで演奏を續けます」と云つた。オスカーは悲痛な感情を押えて、亡き畏友の曲を彈き終つた。
　歳三十八、若くして逝つた現代アメリカ音樂の偉才ガーシュインの追悼演奏會がニュー・ヨークのルウイゾーン・スタジアムで開かれた。曲目は彼の名を不滅のものとした「ラプソディ・イン・ブルー」。ピアノ獨奏者は、出版會社でジョージに合つて以來、彼が死ぬまで親しく交り生活を共にしたオスカー・レヴァント、オーケストラの指揮者は、ジョージに薦めてこの曲を作らせ又自ら初演したポール・ホワイトマンであつた。トラムペットの獨奏から始まる「ラプソディ・イン・ブルウ」のメロディが若いアメリカの生命をこめて展開する。溢れるばかりの聽衆に混つて、ジョージの家族とジュリー・アダムスがいた。ジュリーの淚に曇つた眼は、ステージのピアノの前にオスカーに代つて、彼女が愛し續けた若き作曲家ジョージ・ガーシュインが、誇らかに彈奏する姿を見た。

ユニヴァーサル映畫

凸凹お化け騒動

Hold That Ghost

配役

チャック・マレー……バッド・アボット
ファーディ・ジョーンズ…ルー・コステロ
ジャクスン醫師…リチャード・カールスン
カミール・ブリュウスター
……ジョーン・デーヴィス
グレゴリー………ミッシャ・アウアー
ノーマ・リンド……エヴリン・アンカース
チャーリー・スミス…マーク・ローレンス
ムーズ・マッスン
……ウイリアム・デーヴィッドスン
その他アンドリュウ・シスターズ、テッド・リュイスとその樂團

解説

ラヂオ及び經育の舞台で名を擧げたバッド・アボットとルー・コステロの凸凹二人組を主演に、アーサー・ルービンが演出したユニヴァーサル一九四一年度作品。この二人組は今や人氣の絶頂であり、フィルム・デイリー社調査の全米興行者の人氣投票では一九四二年には首位を占め、その後もベスト・テンの中に入つている。この二人を助けて新人のリチャード・カールスン、喜劇女優として有名なジョーン・デーヴィス、「天使の花園」「搖椅と寶石」等のミッシャ・アウアー、英國映畫で働きその後渡來したイヴリン・アンカーズ等が活躍してゐる。なをラジオやレコードでお馴染のアンドリュウス・シスターズ、テッド・リュイスとその樂團が色彩を添えてゐる。撮影はエルウッド・ブレデルとジョーゼフ・ヴアレンタイン。九卷。

梗概

ガソリン・スタンドに働くチャックとファーディは、もう少し樂な暮しがしたいものとあるナイト・クラブの給仕見習になつた。そこにはアンドリュウ・シスターズやテッド・リュイスとその樂團が出演してゐた。二人は客あしらいが惡くて忽ち給仕頭のグレゴリーに馘にされてしまつた。
　又元のガソリン・スタンドで働いている時、ふとしたことからギャングの親分ムース・マッスンに脅かされて、彼を自動車で警官から逃げさせようとしたが、マッスンは射たれて死んだ。その遺書によつて、二人は彼が田舍に持つてゐる屋敷を讓られることになつた。しかもそこには彼の財産も匿されてゐる筈だつた。チャックとファーディは、マッスンの敵方のギャングで彼の金を横領しようと目論んでゐる[illegible]スといふ男と一緒に、田舍の屋敷へ行くことになつた。彼等は、醫者のジャクスン、美人のノーマ、放送劇の女優カミール達と相乘りのバスで出發したが、屋敷へ着くと、運轉手は一同をそこへ置いて、嵐の中を客の荷物を積んだまゝ逃げ去つた。仕方なく一同は、そこで一夜を明かすことになつたが、その屋敷は久しく住む者とてなく荒れるにまかせた陰氣なところだつた。
　ギャングのスミスは、他の一同が食事の用意をしてゐる間に、マッスンの匿した財産を盜まうと地下室を探してゐる間に、闇から怪しい手が彼の首を絞めた。
　食事をしてゐた一同は何時までもスミスが來ないので、蠟燭の灯を賴りに鬼氣迫る屋内を調べた結果、緞張の蔭からスミスの死體を發見した。一同わ喫驚してなおも家中を調べてゐる時、激しく玄關の扉を叩く音がして二人の警官が來たので彼等を現場に案内すると不思議や死體は紛失してゐた。警官達は「早くこの家から出て行つた方がいゝぞ」と云つて歸つて行つた。
　一同は恐れ慄いたが一應寢ることになつた。その夜奇怪な事件が續出した。ファーディの寢室では帽子掛へ上衣をかけると部屋は賭博場に變り、上衣を外すと元の部屋になつた。その仕掛を知らない彼は氣も顚倒してしまひ、チャックは彼が氣狂ひになつたと思つた。女優のカミールは幽靈に追ひかけられた。ファーディは暗闇に光る無氣味な眼に惱まされたり、何者かに帽子をとられたり、燭台が動き出すのに肝を潰したりした恐怖の一夜が明けた。ファーディは壁にかけてあつた大鹿の首の剝製の中から札束を發見した。それは物凄い大金だつた。一同がその金を醫師ジャクスンの鞄に入れてその家を立去らうとした時、ギャングの一隊が入つて來て、その鞄を奪おうとした。一同とギャングの間に闘爭が開始されたが、ファーディの氣轉でギャングは逃げ去つた。
　金は見事に手に入つた。その上前夜ジャクスン醫師が、その家の水を試驗した結果それが病氣に效く水であると云い出した。
　チャックとファーディは直ぐその廢屋を改造して溫泉宿を作つて盛大に開業した。ファーディは女優のカミールと結婚し、ジャクスン醫師は、美人のノーマの愛を得た。屋敷の庭をカフェに改造したファーディとチャックは、そこの舞台にアンドリュウ・シスターズや、テッド・ルュイスとその樂團を出演させ、その上自分達を馘にしたグレゴリーを給仕に採用した。

ふ男に會つた。社長のマックスはジョージに好感を持つた。古曲の樂聖達より近代派のジェローム・カーンの方に好意を感じると云ふガーシュインが好きになつた。彼の作曲も氣に入つた。そこで週給三十五弗で二年間の契約を結んだ。その上電話で一流のジャズ・シンガー、アル・ジョルスンに「スワニー」の曲を聞かせてやると、ジョルスンはその曲が氣に入つて早速舞台で歌ふ約束をしてくれた。ウィンター・ガーデンでジョルスンによつて歌はれた「スワニー」は忽ちヒットし、ガーシュインの名前が知られる様になつた。彼は多くのショウのために作曲した。フランク教授は、彼がそういふ音樂のために損はれるのを心配して、クラシックなものを作るやうに薦めるのだつた。又ジョージ自身も、もつと本格的なものへの熱情に燃えてゐたが、ショウの音樂が彼を縛りつけてゐた。

「スワニー」初演の時ジョージは、いつかの女客ジュリーと再會した。彼女も少しづつ役がついてゐたが、ジョニーは自作の「誰かゞ私を愛してる」を彼女とトム・パトリコラに歌はせて彼女の人氣を出させてやつた。

ジョージはポール・ホワイトマンに會つた。ホワイトマンは彼の才能を認め、當時流行してゐたブルースを書くように薦めた。ジョージはその薦めを容れて苦心の結果「ラプソディ・イン・ブルー」の作曲を完成した。その曲がホワイトマン指揮の下にエオーリアン・ホールで演奏された時こそ、現代アメリカ音樂が樹立された時であつた。素晴らしいセンセーションを呼んだ「ラプソディ・イン・ブルウ」はガーシュインの代表的傑作となり、彼は天才の折紙をつけられた。

ジュリーとジョージは益々親しくなつた。口にとそ云わないが、それは戀とまで成長してゐた。だがジュリーは、彼等が樂しく語り合つてゐる時でも、ふとジョージが音樂の事に夢中になつて、彼女を無視してしまうことを淋しくも思ひ、又彼の熱心さに微笑されもするのだつた。ジョージはフランク教授から協奏曲を書けと云はれてゐたが、彼はそれを學ぶために巴里へ行こうと思つてゐた。ジュリーも彼のために歐洲行を薦めてゐた。彼がその氣になつて、雪の日にフランク教授を訪れた時、思ひがけぬ恩師の死を知らされた。悲しみに呆然とした彼に遺されたのは恩師が秘藏してゐたブラームスの署名のある樂譜だつた。

その頃兄のアイラは作詞に興味を持ち、自分の詩に弟の作曲をつけて貰つて發表してゐた。彼がジョージとジュリーがやがて結婚するだらうと思つてゐた時、ジョージは巴里へ出發することになつた。二人のロマンスは實らずに中断した。

トム・パトリコラとジョーン・レスリー

彼は巴里にゐる時、あるカフェで、クリスティーン・ギルバートという美しい婦人に紹介された。彼女は一度結婚して米國籍を離脱したが、その後離婚して獨身だつた。彼女はジョージの中にあるアメリカ的なものに懐しさを感じ、ジョージは又、クリスティーンの洗練された美しさに魅せられた。彼は巴里滞在中に、クリスティーンの愛情を得た。

クリスティーンと共に彼はアメリカへ歸つた。友人達は彼を歡迎した。だがジュリーはクリスティーンの姿を見て悲しかつた。そして華かな歡迎の集りを他に、彼女は愛してゐるジョージから離れてゐたが、一同から頼まれて、ジョージの伴奏で彼の曲を歌つた。だが感情が激して彼女は歌い終ることが出來なかつた。

ジョージはクリスティーンに結婚を申込んだ。しかし彼女は聰明な女だつた。彼女はジョージを愛してはゐたが、彼の生命が音樂であり彼の眞の熱情が音樂に對してだけ向けられてゐることを知つて結婚生活が幸福に續かぬことを感じてゐた。そして秘かに彼から去つて行つた。ジョージの心の痛手は大きかつた。そしてそれと共に

ロバート・アルダ

ジュリーによつて苦痛を和げられたいと思つた。だがジュリーもクリスティンと同じ感情を持つてゐたので彼の愛情を拒絶した。

失意のジョージは再び巴里に渡り、そこで「巴里のアメリカ人」を作曲し、歸米してからは「キューバ序曲」を書いた。★の頃彼の父は壞血病で重態だつたが、旅行から歸つた息子に、ジュリーと結婚するのが身のためだと云ひ遺して死んだ。

ジョージはフロリダのホテルで歌つてゐるジュリーを訪ねて求婚したが、彼女は、ホテルの樂長と結婚したと嘘をついて、立去らせた。

彼の惱みと關係なく彼の名聲は益々上つた。彼のアメリカ黒人を描いた歌劇「ポージイとベス」は彼の最大の傑作だと絶讃された。彼は全國に互つて親友のオスカー・レヴァントや兄と共に演奏旅行を行つた。

だがある演奏會で、自作の「協奏曲へ調」のピアノを弾いてゐる時、突然指の動きが鈍くなつて辛うじて演奏を終へた。頭が痛み、指はコップをとり落すほど不自由だつた。彼はもはや自分の生命で

給組織は必要であるから、この運動は實現性が頗る濃厚である。

セルズニック 續々新作を企畫

デイヴィッド・セルズニックは ヴイツキー・ボーム原作の「陰謀」"Conspiracy" を製作すると發表した。主演者にはケイリー・グラントとドロシー・マツガイアーがRKOから借りられる予定である。

デイーターレも セルズニックと契約

セルズニックがマーヴィン・ルローイの監督で作る予定だつた「若草物語」"Little Women" は一時延期され、そのスターであつたジエニフアー・ジョーンズはジョゼフ・コツトンと「ジエニーの肖像」"Portrait of Jenny" に主演する事になり、監督としてウイリアム・デイーターレが契約された。これはデイヴィッド・ヘムステッドのセルズニック傘下に於ける第一回プロダクションで、二月一日撮影開始の予定である。

珍らしい顔合はせ

ベネデイクス・ボゴースの次回作品「クリスマス・イヴ」"Christmas Eve" のスターとして、ジョージ・ラフト、ジョージ・ブレント、ランドルフ・スコットの三人が契約された。これはローレンス・スドーリングスの脚本で、ラフトはギヤングスターに、ブレントは金持紳士に、スコットはカウ・ボーイに扮する筈である。

マーガレット・オブライエンの 新作品決定

「小公子」の著者フランセス・ホジスン・バーネットの書いた「秘密の庭」"Secret Garden" をマーガレット・オブライエンの次回作品としてMGMが購入した。クラレンス・ブラウンが「一年仔」に續いて製作監督する筈で「一年仔」で素晴らしい演技を見せた少年クロード・ジヤーマン・ジユニアがマーガレットの對手役を勤める予定である。

「お蝶夫人」再映画化

プッチニのオペラで有名な「お蝶夫人」は嘗てシルヴィア・シドニーがパラウントで作つた事があるが、今度はセイモア・ネベンツアルが映画化權を買い、同時に伊太利の監督カルミネ・ガローネの書いた映画脚本を買入れた。物語は現代化して、プッチニの曲を全篇の背景音樂として使用する予定であるが、監督や主演俳優は未定である。

ジヨーン・レスリー E・Lに入社

「ラプソディー・イン・ブルー」で主役を演じたジヨーン・レスリーがワーナーを退社し、會社と訴訟中であることは既報したが、彼女はイーグル・ライオンに入社しブライアン・フォーイの製作アルフレッド・ワーカーの監督する、「再演」"Repeat Performance" にフランショット・トーンと共演する事に成つた。これはE・Lとしては超特作品で、製作予算百五十万弗が計上された。

ダービンの夫君 U・Iを退社

ユニヴァーサルとインタナショナルが合併して以來、舊ユニヴァーサル系の幹部で退社するものが續出して居るが、デイアナ・ダービンの夫君で、彼女の最近作全部のプロデューサーであつたフエリツクス・ジヤクスンも辭表を提出して退社した。彼の最後の作品は最近完成した「私は貴方のもの」"I'll Be Yours" であつた。ダービンの次回作「セントラル・パーク」では、ジヨーゼフ・シストロムが製作者に任命された。

撮影所製作状況 廿世紀フォックス

ダーリル・ザナックの主宰する二十世紀フォックス社の四六——四七年度陣容は十四本以上のテクニカラー作品を含む約二十七本が豫定されて居るが、この他にソル・ワーツェルとエドワード・L・アルパースンの製作するB級作品各六本が發賣される筈である。

A級作品の主なものは次の通りである。

「いとしのクレメンタイン」ジヨンフォード監督。ヘンリー・フォンダ、リンダ・ダーネル主演。

「剃刀の刄」エドマンド・グールディング監督。タイロン・パワー、ジーン・ティアニー、ジヨン・ペイン、アン・バクスター主演。

「マドレイヌ街十三番地」ヘンリー・ハザウェイ監督。ジエイムズ・キヤグニー、アナベラ主演。

「コスタリカの謝肉祭」(テクニカラー)ディック・ヘイムス、ヴェラ・エレン主演

「ブーメラング」エリア・カザン監督。ディナ・アンドルウス、ジエイン・ワイアツト主演。

「幽霊とミユアー夫人」ジーン・ティアニー、レックスハリスン主演。

「バツトルの倅ボブ」(テクニカラー)ペギー・アン・ガーナー、ロン・マッカリスター主演。

「歌鳥の船旅」(テクニカラー)、ジヨン・ペイン、ジユーン・ヘイヴアー主演。

「母はタイツを穿いた」(テクニカラー)ベティー・グレイブル主演。

「カスティルから來た船長」(テクニカラー)ヘンリー・キング監督。タイロン・パワー主演。

「驚くべきピルグリム嬢」(テクニカラー)ベティー・グレイブル、ディックヘイムス主演。

「故ジヨージ・アプリー氏」ロナルド・コールマン、ペギー・カミンス主演。

「ホームストレッチ」(テクニカラー)ブルース・ハムバーストーン監督。コーネル・ワイルド、モーリン・オハラ主演。

「彼女を今頃誰がキスしてるだらう」(テクニカラー)ロイド・ベイコン監督。ジユーン・ヘイヴアー、マーク・スティーヴンス主演。

「永遠のアムバー」(テクニカラー)オットー・プレミンガー監督。リンダ・ダーネル、コーネル・ワイルド主演。

「毎日曜日に鷄料理」ジヤンヌ・クレイン、ヘンリー・フォンダ、モーリンオハラ主演。

「蛇の穴」アナトール・リトヴァック監督。

「スカダ・フウ！スカダ・ヘイ！」(テクニカラー)

「制服の三少女」(テクニカラー)ブルース・ハムバーストーン監督。ジユーン・ヘイヴアー、ヴィヴィアン・ブレイン主演。

「ジエリコの壁」ジヨン・M・スタール監督。

「モス・ローズ」グレゴリー・ラトフ監督。

「アンナとシヤム王」「スモーキー」(テクニカラー)「クローディアとデイヴィッド」「百年目の夏」(テクニカラー)等旣に紹介した映画も新年度作品である。

シナトラ主演の「ジヤズ・シンガー」

フランク・シナトラは、メトロのスターであるが、毎年他社で一本作つても良いと云う契約條件があるので、ワーナー・ブラザースが遂に彼を口說き落し、「ジヤズ・シンガー」の再映画化に主演させる契約をした。「ジヤズ・シンガー」は云うまでもなく、アル・ジヨルスンの主演した世界最初のパート・トーキーで一九二七年に封切られた映画である。撮影は今春のうちに開始される筈である。

ハリウッド短波放送

田村幸彦

Short-wave Broadcast From Hollywood

by Yoshihiko Tamura

ラナ・ターナー
Lana Turner

セルズニック反撃 ユナイトと株主に 賠償要求

メエリー・ピックフオードと**チヤーリー・チヤツプリン**によつて、ユナイテッド・アーチスツを追われた**デイヴイツド・セルズニツク**は、その儘默つて引下らず、ピックフォードチャップリンを對手どつて六百万弗、ユナイテット・アーチスツを對手どつて七百万弗の損害賠償を法廷に訴へると聲明した。彼の聲明の概略は次の如くである。

「ピックフォードとチャップリンが數年間ユナイテッド・アーチスツ社に何等の作品を提供せずに置きながら、セルズニック及びユナイテッド・アーチスツの業務に干渉するのは許し難い。今後自分は法廷以外ではU・A社と何等交渉を持たないであろう。自分は至急にかゝる干渉のない發賣會社を作る予定である。ピックフォード及びチャップリンに對しては、二人が共謀して一九四二年十月U・Aと締結した配給契約を破棄せしめた廉によつて六百万弗の損害賠償を訴え、彼等の利己本位の隠謀を曝露するであろう。自分とピックフォードとチャップリンが、各々三分の一宛を所有するユナイテッド・アーチスツに對しては、七百万弗以上の損害賠償を要求する。理由は、配給契約を破棄して損金を被らしめた事及び從來セルズニック作品の配給に當つて、取扱いを故意に誤り、他の弱小製作者の作品を賣る爲にセルズニック作品を利用した事である。

二十世紀フォックスやRKOへ原作、脚色を賣渡したのは、セルズニック作品としての水準に達しないと信じた爲であり、製作者、監督、スター等を他社へ貸す自由は、契約書に明記してある。」

エンタプライズ映画U・A配給と確定

セルズニックを追つたU・Aは、予定通りエンタプライズ社の作品配給權を獲得した。第一回發賣映畫はジョーエル・マックリー、ヴェロニカ・レイク主演の「ラムロッド」で二月一日に發賣。**イングリッド・ベルクマン**と**シャルル・ボアイエ**の「**凱旋門**」は四月一日それ以後二ケ月置きに一本宛、毎年六本を發賣することに成つた。

MGMが人件費節減を實行

最近の製作費膨脹に惱むMGMは、今年一年間に七百万弗自至八百万弗の製作費を節約する事になり、作品數も四六年の三十一本から、四七年は二十四本に減少する事に成つた。この方針で最先きに槍玉にあがつたのは人件費で、既に多數のプロデューサー、脚色家、俳優等が撮影所を去り、本社とシカゴにあつたスター發見係の事務所も閉鎖された。

RKOの新撮影所長

RKO撮影所長チャールス・コーナーが一年程以前に死んで以來、社長のピーター・ラスヴォンが撮影所長を兼任して居たが、本年一月一日からセルズニック傘下のプロデューサー、**ドーア・スカリー**が撮影所長に就任した。スカリーはセルズニックとまだ一年半契約が残つて居るが、セルズニックの同意を得て、RKOの副社長兼撮影所長に就任したものである。彼は前にもRKOの爲に「螺旋階段」「ノートリアス」の二本を製作した經驗がある。

セルズニックRKOと合併か

ユナイテッド・アーチスツを去つた**デイヴイツド・セルズニツク**と、RKOとを合併させようとの運動が、紐育の銀行家の間で起され全映畫界の注目を集めて居る。RKOはセルズニックの部下たるドーア・スカリーを撮影所長に迎えたが、セルズニックが全製作責任を取る事になれば、陣容は著しく強化される譯であり、セルズニックとしても作品の配給網を確立する上から云つて、どこかの配

舞臺俳優の臺詞に賴つて、無氣力な舞臺實寫に終始したり、サイレントに臺詞を附けただけの舊套依然たる手法に終始してゐる演出家や、脚本家も少くはなかつた。
映画の改革は容易なことではなかつた。

第六章 アメリカ・トーキーの創生

「モロッコ」とスタンバーク

果して、アメリカ映画の傳統は守られたであらうか。前章に於て、私はアメリカ映画がトーキーに移行するための、科學的必然と經濟的必然を述べ、併せて、他の藝術分野の刺戟について語つた。

アメリカ文學や、アメリカ演劇の近年に於ける急速なる發展は、世界を注目させるものがあつた。その内容は從來のサイレント映画の單純素朴な表現では語り切ることが出來なかつた。大人になつた肉體に、今までのやうな小兒の衣裳は身丈に合わなかつた。熟れた林檎が自ずと樹から落ちるように、このような必然が、經濟的、科學的條件と相俟つて、トーキーの出現に確固たる地盤を與えたのではないだらうか。

そのような環境によつて生れたトーキーの初期は、ともすれば、舞臺的條件に制約されたものが多かつた。キャメラは据えられた儘、演技者の臺詞を錄音してゐる。音樂映画や、レヴュー映画は、その美しい音樂や、鮮やかな踊り子の肉體を撮してゐる。現實にブロードウエイの名優たちや、豪華なレヴューを見ることとの出來ぬ人々にとつて、このような作品は、たしかに素晴しい贈物にはちがいなかつたが、それは創造の感激を伴わぬ再生品に過ぎない。舞臺劇の再生であり、レヴューの鑄譜であつた。アメリカ映画が三十年守り來つた傳統は、このような再生藝術の前に空しく崩壞したであろうか。

サイレントの藝術家チャップリのトーキーに對する反對宣言は、その意味で英雄的悲壯さをもつものであつた。彼はその主義を身を以つて行動した。三一年の「街の灯」や、三四年の「モダン・タイムス」は、臺詞なしの音響映画として發表されたが、結果は、時代遲れの印像を人々に與えたに過ぎなかつた。サイレント映画の牙城はかくて崩れ、その藝術家は、新しい侵入者の前に屈服したであろうか。

「モロッコ」のスタンバーク、「沙漠の生靈」のウイリアム・ワイラー、「西部戰線異狀なし」のリュイス・マイルストン、「ハレルヤ」のキング・ヴイダー、「アロウスミス」のジョン・フォード等の人々の名を、こゝで強く記憶しなければならないが、その代表選手として、ジョセフ・フォン・スタンバークのことを語ることにする。スタンバークの悲劇的足跡を通じて、アメリカ・トーキー藝術の黎明に觸れて見たいのである。

かつて無名の新人であつたスタンバークが、「救いを求むる人々」によつて、チャップリンに見出され、サイレント末期に「紐育の波止場」「女の一生」の二名作を出したことはすでに述べた。この二つの作品によつて彼はサイレント映画に於て、可能な範圍の社會的視野と心理の表現に成功を收めた。第一回トーキーとして「サンダーボルト」を發表したが、その直後に獨逸ウフアに赴いて、「嘆さの天使」の監督に當つた。エミール・ヤニングスと、新女優マレーヌ・デイトリッヒの共演であつた。この作品で、スタンバークは、音響、臺詞の大膽な實驗に成功した。

デイトリッヒを初めてアメリカへ紹介した「モロッコ」は、日本に於けるほどアメリカ本國は勿論、ヨーロッパでも好評を博したものではなかつた。そういふ大衆的評價とは別に、「モロッコ」はトーキー演出上の革命であつた。音響と臺詞の不敵なる使用と省略が行われた。更らにアメリカ映画に於ける新しい生活視野の發見であつた。息苦しい現實から逃避えのぬけ道であつた。敗北的ロマンチシズムとも云えるものであつた。

當時の名作と云われるエルンスト・ルビッチュのオペレッタ「ラヴ・パレード」や、「私の殺した男」や、エドマンド・グウルデイングの「トレスパッサー」「悪魔の日曜日」には、その感銘に伴つて、演劇的な傳統が裏づけられている。スタンバークのロマンチシズムには、そのような演劇的な雰圍氣がなかつた。そのことは、この傑れた映画作家にとつて、強味であると同時に弱味であつた。「モロッコ」に次いで、「間諜X27」の佳作を出した儘、以後は次第に下り坂になつた原因のひとつであろう。今日、彼の名はハリウッドの過去帳にしか見出されないであろう。しかし、「紐育の波止場」以後、維納の女間諜の戀に殉じる末路を描いた「間諜X27」に至るまで短い間であつたが、スタンバークの逃避的で、敗北的なロマンチシズムの印像は、アメリカ映画にとつて、永遠に忘れられないものではないか。

「モロッコ」は、世界の涯ての沙漠の町で、明日をも知れぬ命の兵士と倫落の女の儚ない戀を描いたものであるが、私はこの作品の試寫を見た時、初めてアメリカ・トーキー創造を見たように思つた。獨逸から前記の「嘆きの天使」が輸入され、フランスからルネ・クレールの「巴里の屋根の下」「ル・ミリオン」が輸入された前年、そこで、ハリウッドでは「ラヴ・パレード」や、「西部戰線異狀なし」「ハレルヤ」が製作された一九三〇年に、スタンバークも亦、貴重な一石を打つたのである。

CHARLES BOYER

CLAUDETTE COLBERT

アメリカ映画小史・5

筈見恒夫

Short History of American Films

by
Tsuneo Hazumi

第五章　映画藝術の革命

アメリカ文學・演劇の成長

經濟的條件が、アメリカ映画のトーキー化を促進したことは、前章で述べたが、これを映画に對する外部の藝術的要素の方からも考えて見ることは必要なのである。サイレントとしてのアメリカ映画は成長期から、すでに爛熟期に達し、それ自身の完成したる幾多の傑作を生んでいたが、自ずと無聲映画の限界點に達していた。

官能的なジャズから出發したアメリカ音樂は獨自の發達を遂げ、絢爛たるレヴューは眼を奪うような改革を遂げてゐた。アメリカ文學は、今世紀に入り、大戰の試練を得て、世界的水準にまで進出していた。古典文學は別としても、ターキントンの通俗ものや、ハーゲシエマーの浪漫小説や、ゼーン・グレイの西部小説に安住していたアメリカ文學からシンクレアー・リュイスや、テオドア・ドライザーのやうな社會的視野をもつた大作家が生れ、一九二〇年に「本町通り」、一九二五年に「アメリカの悲劇」のような力作が發表され、探偵小説や、冒險小説の愛讀者であつた大衆にも、別の世界が提示された。

劇壇の革新は、これにも増して著しかつた。今世紀の始め頃、アメリカの舞臺には數えるに足る名優しかいなかつた。一流舞臺の殆んどは、英國名優の巡業公演が、ボストン、紐育の大都市で見られるだけである。演目も殆んど歐洲作家のものに限られ、自國の劇作家では、「お蝶夫人」を書いたベラスコや、「ボー・グラムメル」等のクライド・フイッチ等の通俗劇に限られていた。アメリカ演劇全體が田舎芝居の水準にいたのが、第一次大戰前の狀況であつた。この時期に、アメリカ最大の劇作家ユージン・オニールが、「地平線の彼方」（一九二〇年）、「アンナ・クリスチイ」（一九二一年）の名篇に相次いで、その評價を世界的なものにした。エルマー・ライス、R・シャーウッド、M・アンダースン、リリアン・ヘルマンの劇作家がこれに次いで活躍し、二十年後の今日に於て、アメリカ演劇は、他に比肩する國のない程の幅と高さに到達したのである。

こゝで記憶しなければならないことは、この人々と、ハリウッドの關係である。ライスは「街の風景」の名聲をなさぬ前に、ゴールドウイン脚本部でウイル・ロヂャース主演映画等のシナリオを書き、シャーウッドは無名の劇作家であつた頃、映画批評家としては既に名をなしてゐた。ヘルマンはMGM宣傳部にゐて自作をシナリオの採用を斷られ、發奮して、ブロードウエイで「この三人」「ラインの監視」等の當り狂言を書いたと云ふことである。彼等、現代アメリカの戯曲家が、その成長過程に於て、映画と無關係ではなかつたことは、この一事に於ても、明かである。

このように周圍の藝術が成長していた。アメリカ文學は、英國の「地方文學」では既になかつたし、アメリカ演劇は「田舎芝居」ではなくなつてゐた。若し、このような潮流に取殘されたとしたら、ハリウッドそのものが、アメリカの田舎としての運命に甘んじなければならないのである。

ブロードウエイ、ハリウッドの接近

傑れた戯曲が書かれると同時に、優秀な舞臺演出家が成長し、舞臺俳優の演技が急速に進歩していた。それらの傑れた俳優を、映画に出演させることは、繰返されていた。アルフレッド・ラントや、ジーン・イーゲルスや、クローデット・コルベールや、アナ・クレアー、エドワード・ロビンスンの人々は映画に出たが、聲を持たぬ彼等の演技は生彩がなかつた。コルベールは、一九二五年のFN「力漕一挺身」にベン・ライオンの相手を勤めたが、二十二年前の若い彼女が如何に佗びしいものであつたであらうか。

トーキーは、この人々に、機會を與えた。彼等は、その台詞と手馴れた演技によつて、ハリウッドへ大擧押しかけて來た。演技者やのみではなかつた。ブロードウエイの劇作家や、紐育のジャーナリストの多數が、各社の脚本家として、新しく加つた。トーキーの台詞は、舞臺劇の臺詞と同じように重要視されなければならない。舞臺の演出家として、ルーベン・マムウリアン、ジョン・クロムウエル、ジョージ・キューカーの如き人々も、この時期にハリウッドえ赴いた。

映画の演出も、根本的に、その方向を變へなければならなかつたが、それ以上に、重要なことは、脚本構成の根本的な改革であつた。臺詞に生命のないトーキーは、サイレント映画と擇ぶところがないのである。その臺詞を生かすために、從來のサイレントとは、全く異つた構成が採られなければならなかつた。生き殘るか生き殘らぬか決死の戰いが、舊い映画人と、新しい侵入者の間で徹底的に行はれた。容赦のない映画藝術の革命であつたが、この陣痛の時期に、トーキーの明日が約束されたのである。

『アンナ・クリスティ』や、『街の風景』や、『グランド・ホテル』『犯罪都市』が代表する舞臺的な構成の映画は、サイレント技術のハリウッド下では、思いもかけぬものであるが、傑れたトーキー作家は、これらの作品を、單に舞臺劇の模寫や、實寫に終らせず、彼等自身の個性と、技術的創意によつて、トーキー藝術の創造に一步步近づいて行つた。その反面には、

ロレッタ・ヤング
Loretta Young (RKO Star)
最近の上演映画はRKO映画「國舎へケイテイーを」で、ジョセフ・コツトンが共演している。

アロング・ケイム・ジョーンズ
Along Came Jones
ゲイリー・クーパー製作
ステュアート・ヘイスラー監督
ロレッタ・ヤング
ゲイリー・クーパー主演

これは「誰がために鐘は鳴る」「サラトガ本線」と同じくゲイリー・クーパーの戦争中に主演した作品だ。この作品の特色は、クーパー自身のプロデュウスになつていることで、相手役は、「嘆きの白薔薇」のロレッタ・ヤングである。一九四五年の六月に封切られている。（RKO・インタナショナル作品）（左）

白晝の決闘
Duel in the Sun
デヴイツト・O・セルズニツク製作
キング・ヴイダー監督
グレゴリー・ペツク、ジエニフア・ジヨーンズ、ジヨセフ・コツトン共演
（ユナイテツド作品）

西部劇の決定版ともいえるテクニカラーの大作で、この監督、この主演者に、ライオネル・バリモア、リリアン・ギツシユ、ウオルター・ヒューストン、ハーバート・マーシヤル共演といつた豪華キヤスチが組まれている。（右）

新着スチルから

アメリカで評判の映画

剃刀の刄

The Razor's Edge

サマーセツト・モーム原作、ダリル・F・ザナツク製作、エドマンド・グールデイング監督。タイロン・パワー、ジーン・テイアニー主演、ジョン・ペイン、ハーバート・マーシヤル助演。(廿世紀フオックス作品)

「月と六ペンス」「痴人の愛」「クリスマスの休暇」の作者として著名なサマーセツト・モームのベスト・セラーを映画化したものだ。タイロン・パワーの復員第一回主演映画で、相手役は「アダノの鐘」「彼女を天國へ」等に主演して、ジエニフア・ジョーンズと並び稱される有望な新人ジーン・テイアニー、これにジョン・ペイン、ハーバート・マーシヤルを配した大作で、監督は「永遠の處女」のエドマンド・グールデイングである(下)

黄金の耳飾り

Golden Earring

ミツチエル・ライゼン監督　マルレネ・デイトリツヒ、レイ・ミランド主演（パラマウント映画）

一九三七年にパラマウントを去つて以來フリー・ランサーであつたデイトリツヒが十年振りにパラマウント映画に主演する映画で、共演は「失われた週末」でアカデミー演技賞を得たレイ・ミランド、監督は「淑女と拳骨」のミツチエル・ライゼンである。(左)

それから半年後、結婚したリュイスとフローレスは、ロンドンのクライトン家に住んでいた。テッサとポーラは女學校の寄宿舍に入つていた。リュイスは結婚はしたものゝ、妻が社交界へ彼をひつぱり出そうとすることが厭さに、折にふれては言い爭つた。彼は社交界の儀禮とか虛飾などに反感を持つていた。そして自分を强制しようとする妻の態度に憤りを感じるのだつた。二人の間に溝が出來つつあつた。

夫婦が客を招いた夜學校の窮屈さに耐えられなくなつたテッサとポーラが、學校に無斷で歸つて來た。テッサは、その夜客の前でリュイスが彈く彼の作曲を聞いて、彼が技術にばかり走つて生命のない音樂を作つているのを感じて悲しかつた。だがその惱みは、又リュイスの惱みでもあつた。彼はあせれば焦るほど藝術的な感興が湧かないのだ。

ポーラは學校へ歸されたが、テッサは心臓が弱いから學業に耐えないという理由で、クライトン家で起居することになつた。彼女はリュイスを助けて、自分達姉妹のために彼が作曲したメロディを土臺に「明日」という題の交響詩を作ることに努力させた。リュイスはテッサと共にいると、感興が湧いて來るのだつた。フローレンスは、テッサが來て以來、夫との間の距りが益々離れて行くことを知り、はしたないと思いながらも嫉妬にかられるのだつた。夫婦の間の冷たさは、敏感なテッサにはよく判つた。そして秘かに苦しんでいた。

交響詩「明日」は完成した。公演の當日、スイスからフリッツとトニイが訪れて來た。テッサはフリッツと花屋へ行き、リュイスの釦穴に挿す花を買つた時、リュイスとフローレンスの仲を良くするためと、リュイスの名前でフローレンスに花を屆けることにした。フリッツは前もつてリュイスにその旨を話しておく筈だつたが忘れてしまつた。花を受取つたフローレンスは、リュイスが贈つたのではないと知ると、屈辱に蒼白になつた。

その夕方、リュイスは、テッサがずつと以前から彼を戀してゐることを知つた。そして自分の中にも彼女への愛情が隱されていることに氣がついた。彼はテッサとの愛を完成しようと思つた。そして彼女に、一緒に家を出ようと言つたが、テッサはフローレンスの心を傷けることを恐れて强く拒絕した。

リュイスは演奏會が終り次第一人で旅に出ようと思つて仕度したが、それを見たフローレンスは、夫がテッサと家を出るのだと思い、テッサの部屋へ行き、口を極めて彼女を難詰した。テッサは、必死になつて叫んだ。

「前からリュイスを愛せずにはいられなかつたの、でも彼とは何處へも行きません。私だけが出て行くつもりです」

心の激動に耐えかねたテッサはそのまゝ卒倒してしまつた。漸く彼女が回復するのを見ると、フローレンスは演奏會へと出て行つた。

その後から、リュイスがテッサを誘いに來た。だが彼女は、心臓の狀態が悪いから家に居ると云つて斷り、接吻しようとするリュイスを拒けて、それとなく別れを告げた。彼女はリュイスの居ない間に、家を出て身を隱そうと決心していたのだ。

リュイスが去つた後、彼女は彼に與へるのを忘れた花に、宛かもリュイスに云うかの様に別れの言葉をかけ、そして荷造りにかゝつた。

彼女がスーツ・ケースを提げて階下へ降りた時、ラヂオが交響詩「明日」の中繼放送を始めた。テッサはラヂオの傍に腰を下して吸いつけられるように耳をすませた。二人の曲が波のように彼女の身も心もゆすぶつた。その波の中で彼女はスイスの故郷を想つた。山々が美しかつた、丘の上でリュイスに、「誰とも結婚しないでね」と頼んだ自分の姿がいとおしかつた。

メロディの波が彼女の身體の中でふくれた。心臓が苦しくなつた。テッサは崩れるように床の上に倒れた。その手にはリュイスのために買つたくちなしの花が握られていた。

音樂會は大成功だつた。だがリュイスは、何故ともなく早くテッサに合いたい氣持に驅られて、聽衆の拍手の音を後にして家へ急いだ。そしてテッサのいる部屋へ入ろうとした時、後から追つて來た妻に呼びとめられた。

「私は考えました。貴方はテッサを愛してらつしやる。だからお別れしようと思いますの。私は貴方を愛してますけど、お別れすることが一番貴方を愛することだつてことが判りましたわ」

思いやりのある妻の言葉に、リュイスは詫びを言つてからテッサのいる部屋へ行つた。テッサは椅子にかけて眠つているようだつた。

召使いが彼女の姿を見守つていた。リュイスは彼女を目覺めさすまいとしてそつと近寄つた。その時、召使いが突然男泣きに泣いて部屋を出て行つた。ハッと不吉なものを感じたリュイスは、テッサにかけ寄つてその肩を搖つた。だがそれは既に生命のない身體だつた。

リュイスは彼女の肩を抱き起した。

「テッサ！」

これから二人の人生が開けると思つた時には、運命の車輪は既に無慈悲へ女の生命をくだいていた。

頰を傳ふ涙の流れるにまかせたまゝ、リュイスは明日なき抱擁を續けた。

新着映画紹介(6)

永遠の處女

Constant Nymph

ワーナー・ブラザース映画

解説

シャルル・ボワイエとジョーン・フオンテインの初顔合せを、**エドマンド・グールデイング**が監督したというところに最も興味を惹かれるワーナー・ブラザーズ社一九四三年度作品。ベスト・セラーであるマーガレット・ケネデイの小説（舞臺劇はベイジル・デイーン）を「ガラスの鍵」等の脚色者キヤスリン・スコラが脚色し、「戀の十日間」のトニー・ガウデイオが撮影監督に當つた。音樂は「二つの世界の間」「痴人の愛」のエーリツヒ・ウオルフガング・コーンゴールド。ヘンリー・ブレークの製作である。監督グールデイングは、名作「トレスパッサー」「悪魔の日曜日」「グランド・ホテル」「晩春」や「月世界征服」「夜の天使」等で懐しい人であり、近作には「暗い勝利」「老嬢」「偉大な嘘」がある。主演者シャルル・ボワイエは「肉體と幻想」「運命の饗宴」「征服」で紹介ずみ。問題作「瓦斯燈」「密使」等に彼は益々名聲を高めている。ジョーン・フオンテインは「レベッカ」で認められ、最近封切された「斷崖」でアカデミイ主演女優演技賞を受けた人。彼女は次いでシャーロット・ブロンテの「ジェーン・エア」や「フレンチマンス・クリーク」「スーザンの事件」等に活躍している。助演は「ラプソディ・イン・ブルー」のアレキシス・スミス、「キングス・ロウ」のチヤールズ・コバーン、「征服」のデーム・メイ・ホイツテイ、「カサブランカ」のピーター・ローレ、「目撃者」のエドワード・チヤネルリ、又珍しくもモンタギユー・ラヴ等の一流の陣容である。十一巻。

梗概

近代派の作曲家リュイス・ドッドは技術は素晴しいが曲には生命がないと云われていた。彼の曲がロンドンで演奏されて失敗したことを知つた彼は、氣を腐らせて毎年訪れることになつているスキスのアルプス山地にいるサンガー家に訪れることにした。

主人のアルバート・サンガーは立派な音樂家だつたが、今はアルコール中毒になつて貧しい暮しをしていた。彼には何人目かの妻とケイト、トニイ、テッサ、ポーラの四人の娘達がいた。彼女達は山家育ちの粗野な娘だつたが、それだけに純眞だつた。そして皆が父親の血を享けて音樂の天分を持つていたが、中でもテッサは鋭い藝術的な感受性と情操を持つた娘だつた。

リュイスの到着を皆は喜んで迎えた。たゞ二番目のトニイがチューリッヒにいる從兄のフリッツの所へ無斷で遊びに行つて留守だつた。娘達はリュイスが彼女等のために作曲した小曲を演奏した。それを聞いたサンガーはその曲を交響詩にまで發展させたらいゝとリュイスにすすめた。

リュイスは誰からも愛されていたが、テッサの彼への氣持は戀に近かつた。彼女はひとりで何時か彼と結婚して彼の曲の中に生命を與えたいと思つていた。彼女の感情を知つているのは末娘のポーラだけだつた。リュイスも四人姉妹の中ではテッサを一番好きだつたが、彼女のほんとうの氣持は判らなかつた。

氣にかけていた二番目のトニイが歸つて來たので、そのはしたなさを叱ろうとしたサンガーは突然心臓痲痺で死んでしまつた。リュイスは、テッサとポーラの母親の實家である英國のクライトン家へサンガーの死を報らせた。報せを受けた伯父のチャールズ・クライトンは、娘のフローレンスと共に血のつながる二人の娘を引取りに來た。

リュイスにとつて、社交界で磨かれたフローレンスは美しく新鮮に感じられた。そして彼等は短い滯在中に戀におちて婚約した。そのことを聞いたテッサは、失神して倒れたが妹のポーラが姉は心臓が弱いので時々卒倒するのだと言いつくろつた。併しテッサは事實心臓が惡かつた。

長女のケイトはある音樂會社の歌手として働き、次女のトニイは迎えに來た從兄のフリッツと結婚することになつた。

配役

役	俳優
リュイス・ドッド	シャルル・ボワイエ
テッサ	ジョーン・フオンテイン
フローレンス・クライトン	アレキシス・スミス
トニー	ブレンダ・マーシャル
チャールズ・クライトン	チャールズ・コバーン
ロングボロウ夫人	デーム・メイ・ホイツテイ
フリッツ・バーコビイ	ピーター・ローレ
ポーラ	ジョイス・レイノルズ
ケート	ジーン・ミューア
アルバート・サンガー	モンタギユー・ラヴ
ロベルト	エドワード・チャネルリ

た。不安そうな面影をしている母親に、夫は「俺のズボンに觸らんでくれ！ 競馬で儲けた金なんだ」と怒鳴つた。それから後で、アビゲイルは、母親がそのズボンを秘かに暖房用の爐の中へ投げ入れて燒いているのを見た。又夫の留守中に警官が來て、夫に出頭するようにと命じた。彼女は不安になつてロバートに事情をきいたが、夫は事實を隱していた。——

夜も更けていたので、チャールズは、そこまで話した彼女を連れて、自分のホテルへ歸つて來た。ホテルは滿員で彼女の爲に部屋がとれないので、その夜は、彼女を居間に寢かせ、彼は寢室で眠つた。翌朝も雨だつた。朝飯を濟ませた後で、彼女は再び身の上話をし出した——。

アビゲイルは音樂が好きだつた。ある音樂會で彼女がロバートと隣り合せに座つたのがもとで、二人は知合つた。彼は次の日曜日の音樂會に彼女を誘つた。それが二人のロマンスの始まりだつた。ロバートは誘惑に敗け易い弱い性質で競馬などの賭事をしていたがアビゲイルに云われて、賭事を止めると約束した。彼は暫くたつてから、彼女を母親に紹介した。母親は、アビゲイルを見て、この娘なら息子の弱さの支柱になつてくれるものと思い、結婚を許してくれた。結婚後の六ケ月間は平和に樂しく過ぎた。アビゲイルは、彼女の人生に於て、こんなに樂しく生き甲斐を感じたことはなかつた。

しかし黒い雲が夫から湧いて彼女の心に影を作つた。ズボンから出た金を、母親が秘かにカーテンの裾に隱したのを知つた彼女は、こつそりそれを取り出して燒き捨てた。二人の刑事が來て家庭の捜索を行つた。一人はカーテンを調べた。母親は札束がみつかるかも知れないと慄えたが、アビゲイルがとり出した後だつたので、發見されずに濟んだ。夫は警察から歸つて來なかつた。

息子への愛情に盲目になつていた母親は、息子の罪悪を知つていながら、ロバートを惡の道に迷いこませたのはお前だ、とアビゲイルを罵つた。

裁判が開かれた。アビゲイルは母親と共に傍聽に行つた。その結果夫は、殺人の罪で終身刑を宣告され、彼女を振り返り見ながら曳かれて退廷して行つた。彼女は呆然と愛する夫の姿を見送つて、母親と人々の眼を逃れるように法廷を出た。母親はふと立止ると、

「お前があの子を殺したんだよ！」

とアビゲイルの頰を打つた。それ以來彼女は母親と別れて生活した。そしてナイト・クラブの歌手として働きながら、何日會えるとも知れない夫を空しく待つていたのだ。

——彼女は語り終つて淋しげに微笑んだ。チャールズは彼女の物語を聞きながら、自分の態度を反省していた。自分を捨てた許婚だつた女と今更なんの爲に會う必要があろう。桑港へ行くのは止そう。そう思つている時、飛行場から電話で天候が回復したので飛行機が出ると報らせて來た。アビゲイルのジャッキーは別れを告げて出て行つた。その後から新聞記者のサイモン・フェニモアが電話で、ジャッキーが居るだろうか訊ねた。だがサイモンは彼女を探している理由はチャールズに語らなかつた。

その時サイモンの部屋には、脱獄して來たロバートが居て、妻のアビゲイルに會うために、サイモンに彼女の所在を探させていたのだつた。

飛行場へ行つたチャールズは、ふと新聞で、別れたばかりのアビゲイルの夫のロバートが脱獄した記事を讀んだ。彼は、アビゲイルの身に間ちがいがあることを恐れて、彼女のナイト・クラブへ急いだ。

アビゲイルも新聞で夫の事を知つて、自分に會いに來るだろうと豫期していた。恐ろしいことだつたが懐しさがこみ上げて來た。彼女が、いつか夫に聞かせた「常に」という歌を歌い終つた時、サイモンが廊下から來るようにめくばせした。彼女が行つたみると、果してロバートがいた。彼女は駈けよつて夫を抱いた。涙で言葉もとぎれとぎれだつた。

彼女は、夫が牢獄につながれている以上、自分も又この人生を牢獄として苦しみつゝ生活して來たのだと語つた。そしてナイト・クラブの周圍が警官にとり圍まれてはいたが、何とかして夫と共に逃れ出ようと思つた。だがロバートは冷かだつた。彼はポケットから拳銃を引出して云つた。

「俺を愛した者にはそのお禮をするのだ」

彼はアビゲイルを殺そうと思つていた。その時、チャールズと女將が入つて來た。ロバートは二人を部屋へ閉じこめてから、壁際に蒼白になつているアビゲイルに銃口を向けた。

窓の外から警官が拳銃を手に忍び寄つた。部屋の中の様子に氣がついた彼は、窓の隅からロバートにねらいをつけた。氣配を知つて振向いたロバートに、警官の拳銃は火を吐いた。

ロバートは倒れた。アビゲイルは駈けよつて夫の顔を抱いて撫ぜた。ロバートは力ない眼を開いて呟くように言つた。

「アビゲイル、お前はもう自由だ」

そして彼はがくりとなつた。涙に濡れた頰を夫の頰に寄せて泣く彼女に、チャールズが言つた。「いまの言葉を聞いたかい？ 君はもう自由なんだ」

アビイゲルは、悲しみながらも、自分の上に蔽いかぶさつた雲がきれて、爽かな月影が射すような氣がした。

メンタルテスト解答

（問題は7頁に出ています）

1 「モロッコ」は昭和四年、「ラヴ・パレード」は昭和四年、「或る夜の出來事」は昭和八年に封切られています光陰矢の如し、齢をとるわけですね。

2 クローデット・コルベエル（「或る夜の出來事」一九三四年度）、ベテイ・デヴィス（「デンジャラス」三五年度「黒蘭の女」三八年度）、ヴィヴィアン・リー（「風と共に去りぬ」三九年度）、ジンジャー・ロジャース（「キテイ・フオイル」四〇年度）、ジョーン・フォンテーン（「斷崖」四一年度）、グリア・ガースン（「ミニヴァー夫人」四二年度）、イングリッド・ベルタマン（「ガス燈」四四年度）、ジョーン・クロフオード（「ミルドレッド・ピアース」四五年度）

3 タイロン・パワー夫人はアナベラ、ロバート・テイラー夫人はバーバラ・スタンウイツク、ハムフリー・ボガート夫人はローレン・バコール、バージエス・メレディス夫人はポーレット・ゴダードです。

4 「風と共に去りぬ」

5 ルイ・パスツール（ポール・ムニ「科學者の道」）、エーリツヒ（エドーワド・G・ロビンソン「偉人エーリツヒ博士」）、トーマス・エヂソン（スペンサー・トレイシー「人間エヂソン」）、キユーリー夫人（グリア・ガースン「キユーリー夫人」）、エオブ・リンカン（レイモンド・マッセイ「エイブ・リンカン」）、ジョージ・ガーシユイン（ロバート・アルダ「アメリカ交響樂」）

6 ローレルでチビ、ハーデイはオリヴア・ハーデイで肥つちよ。

新着映画紹介(3)

クリスマスの休暇

Christmas Holiday

ユニヴアーサル映画

解説

サマーセット・モームの有名な小説を**ハーマン・J・マンキーヴイッツ**が脚色したユニヴアーサル社一九四四年度作品。製作は、脚色家として出發しその後製作者に轉じた**フエリツクス・ジヤクスン**。彼は主演者ディアナ・ダービンの夫であり、「春の序曲」等の彼女の主演映画の製作者でもある。監督は曾て獨乙で「豫審」「人間廢業」等を作つた**ロベルト・ジオドマク**で、彼は渡米後「ハリ叔父の不思議な事件」「螺旋階段」等を演出している。撮影監督は**ウデイ・ブレデル**、作曲並に音樂監督には**ハンス・J・ソールター**が當つた。

主演女優**ディアナ・ダービン**は「天使の花園」＝「オーケストラの少女」等で可憐な少女歌手として多數のファンを持つていたが、昨年の「春の序曲」に於ては戀をする迄に成長し、いまこの映画では、殺人者の妻として、ナイト・クラブの唄い手として劇的な演技を示している。相手役の**ジーン・ケリイ**は、本來はダンサーであり、從來の映画にはダンサーとして出演していたが、この映画で初めて役を得た。**ディーン・ヘーレンス**は紐育の舞台俳優、傍役であつた彼は製作者ジヤクスンに見出されて大役をかち得た。助演にはリチャード・ウォーフ、グラディス・ジョリジ、ゲイル・ソンダーガードが活躍している。

音樂映画ではないがダービンは、**フランク・レサー**作曲の「今年の春は遲く來る」と、**アーヴイング・バーリン**の「常に」の二曲を歌い、更に三つの聖歌が歌われ、**ハンス・ソールター**指揮の下に歌劇「トリスタンとイゾルデ」中の「愛と死」が演奏されている。

原作では舞台は巴里で女主人公は淫賣婦であるが、映画ではニユー・オルリーンズが舞台で女主人公はナイト・クラブの歌手である。**十卷。**

配役

ジャッキー・ラモント／アビゲイル・マネット……ディアナ・ダービン
ロバート・マネット……ジーン・ケリイ
サイモン・フェニモア……リチャード・ウォーフ
チャールズ・メースン……ディーン・ヘーレンス
ヴァレリ・ド・メロード……グラディス・ジョージ
マネット夫人……ゲール・ソンダーガード
ジェラルド・タイラー……デーヴィッド・ブルース

梗概

士官學校を卒業したばかりの若い少尉チャールズ・メースンは、任地に向ふ前のクリスマス休暇を利用して桑港へ行き、許婚のモナと結婚するのだとはしやいでいた。だがモナからの電報が一瞬にして彼の心を苦しめた。その電報には、彼女が他の男と結婚したことが書かれていた。チャールズは悲しみ、そして女の變心を怒つた。彼の親友は、そんな女のことは忘れて、一緒に紐育へ遊びに行こうと誘つたが、彼は「たゞでは濟まされない、とにかく桑港へ行くのだ」と云つてきかなかつた。

チャールズの乘つた旅客機は、途中惡天候に遭い、ニユー・オリーンズに不着陸した。汽車の切符も賣切れていたので、旅客達はホテルに泊つて天候が回復するのを待つことになつた。クリスマスの歡びを他に、暗い顔をして考え込んでいる彼のところへ、土地の新聞記者のサイモン・フエニモアが來た。サイモンは、郊外のナイト・クラブ「メイゾン・ラフィット」の女将ヴァレリーが、桑港へ行く便宜を計つてくれるかも知れないと云い、その家へ行こうと誘つた。

そのナイト・クラブで、チャールズは、ジャッキーと呼ばれる若く美しい歌手に紹介された。彼女は、そういう場所には適しくない愼しみ深さと、何か暗い影を持つていた。チャールズは、彼女に請われて、その夜教會のクリスマス禮拜に彼女を連れて行つた。式が進み、聖歌が莊嚴に歌われる頃、ジャッキーは突然泣き出した。教會の歸りに二人がコーヒーを飲んでいる時、彼女は自分の身の上話を始めた——。

彼女の本名はアビゲイルと云い、ロバート・マネットという男と結婚し、その母親と三人で平和に暮していた。夫は氣が弱く誘惑に脆い男で一定の職としてはなかつた。

ある夜、ロバートは夜更けて歸つて來たが彼の態度には落着きがなかつた、翌朝彼のズボンに赤黒い汚れがべつとり着いているのを見て彼女は不審に思つた。母親がそのしみを洗い落していた時、ポケットから大金の札束が出て來

た精神病學を學ぶ意慾を一層新たにして、ウイーンへの旅に出發した。パリスを驛に送つたドレークはそこで幼馴染のランディ・モナガンの美しく成長した姿に逢つた。彼女は線路工夫頭の娘だつた。ドレークは彼女が忽ち好きになつた。そして結婚を申込んだが、ランディはドレークとの身分が違ふことを思つて、愛してはゐながら彼の望みを斷つた。

ドレークがその全財産を預けてゐた町の銀行の頭取が預金者の金を拐帶して逃亡した結果、彼は無一文になつてしまつた。彼は職を求めにランディの父のモナガンを訪れた。失意の彼を、ランディも父も弟も溫く迎え、彼に鐵道信號手の職を世話してやつた。夜遲くまで働く彼を、ランディは姉のやうにねぎらつた。ドレークは上町では見られない下町の人達の情を有難く思つた。

ある夜ドレークは勤務中に貨車から崩れ落ちた貨物の下敷になつて兩足に重傷を負つた。早速ゴードン醫師が迎えられた。ゴードンは彼の生命を救ふ爲には、と云つて彼の兩足を切斷してしまつた。ゴードンの娘のルイズは、兩親からドレークとの交際を斷たれてからも、彼を慕つてゐた。そのドレークが兩足を切られたことを知つた時彼女は逆上した。何故ならば、父のゴードン醫師が常々、惡い者を懲しめるのが天職だと云い評判の惡い患者に不必要以上な手術をしたことが度々ある事を知つてゐたからだ。彼女は父を惡魔だと罵り、父の秘密を世間に言ひふらしてやると怒鳴つた。父は彼女を氣狂病院に入れるぞと脅して彼女の部屋にとぢ込めてしまつた。

不具になつたドレークの性格は一變してしまつた。陰鬱で片意地になつた彼を、ランディは精神的に再起させようと努力したがそれは彼女には困難な仕事だつた。彼女はドレークの怪我をウイーンにゐるパリスへ通知し、彼の忠言通りに、ドレークを看護した。そして愛するドレークの一生の伴侶となるために結婚し、パリスの金を借りて、ドレークを激勵して土地賣買の仕事を夫婦でやる迄に漕ぎつけた。

パリスは優秀な成績でウイーンの醫科大學を卒へ教授の地位を約束されたが、親友ドレークを見舞うために、休暇を得てキングス・ロウに歸つて來た。パリスとの再會をドレークもランディも喜んだ。パリスも亦、ドレークの献身的な愛情によつて精神的に次第に回復してゐることや、彼等の仕事が成功してゐることを知つて嬉しく思つた。ある日パリスは、ゴードン夫人に招ばれた。ゴードン醫師はその時は死去してゐたが、彼は夫人から意外な頼みを聞かされた。それは娘のルイズが、父がドレークの足を故意に切斷したのだと言つて父を罵り、父が死んだ時もその棺に跨つて父を呪つた上、それ以來自室に閉じ込つてゐるので、ルイズの精神錯亂を治療してほしいとの頼みだつた。パリスはルイズに合つて樣子を調べた。それから手術の際にゴードン醫師の手傳ひをした男が「ドレークの足の首は兩方とも折れてはゐなかつた」と云つた事を知つた。ルイズは正しかつた。

だがパリスはどうすればよいのか、事實を明かにすれば、折角立なおりかけたドレークの精神は再び元の狀態を復してしまふ。ルイズに事實を發表させないやうにするためには、彼女を精神病者として病院へ監禁する方法しかないパリスの惱みは深かつた。

パリスは、昔の自分の家に住んでゐるサンダー父娘と親しくなつた。娘のエリーズは心も姿も美しい女性だつた。彼女は、パリスの惱みを聞き、精神の健全なルイズを病院へ入れるのは罪惡だと云ひドレークを親友とは思はずに、單なる患者として醫師の立場から事實を告げたらい〻、と言つた。パリスは彼女の正しい意見を認めた。そしてドレークの寢台の前に立つて、勇氣を出してゴードン醫師の不當な處理を告げた。それを聞き終つてドレークは笑つて叫けんだ。

「兩足を切られたつて俺の精神が死ぬものか」

彼の精神は全く癒つてゐた。歡びに泣くランディの姿を後に、パリスは、今は愛情を感じ初めたエリーズの許へ追つて行つた。

映画短評

愛のアルバム ☆☆

Penny Serenade

ケイリー・グラントとアイリン・ダンの共演映画には、さきに同じコロムビアの作品で「新婚道中記」という佳作があつた。「新婚道中記」のヒットは、いきおいこのコンビでもう一本ということになつたものらしいが、監督がレオ・マッケリーとジョージ・スティヴンスでは、作品の面白さや巧味の點で、段違いに劣るものがある。レコード一枚々々による回想も余りにも古い手法だ。演出がどれだけ凡庸なかは、日本における地震の場面を見ただけでも解る。退屈な一篇である。尚これは戰爭前に輸入されて、今日までストックされていた作品である。(コロムビア映画、十三巻)

極樂鬪牛士 ☆

The Bullfighters

この映画の監督マル・セント・クレアは、無聲映画時代からの喜劇專門の古い監督で、數々の優秀な喜劇を發表してきている。古いファンには懐しい監督の一人だが、こんな期待にも拘らず、この映画はチビのローレルとデブのハーディとが使い古したギヤグで泥臭い笑いを振りまくだけの、さして面白くもない喜劇でしかない。セント・クレアも既に昨日の人だ。ギヤグをなおざりにした喜劇はそのことだけで失敗といつてい〻。(廿世紀フォックス映画、六巻)

斷崖 ☆☆☆

Suspicion

「疑惑の影」「斷崖」とアルフレッド・ヒッチコックのスリラーが二本續けて出て、漸く今評判のスリラーの眞髄が掴みかけたような氣がする。然しこの二作とも、まだヒッチコックの眞の力倆とスリラーの眞面目とを遺憾なく發揮した作品とはいえない。「疑惑の影」もそうだつたが、特に今度の「斷崖」を見て感じたことは、ヒッチコックのスリラーは、事件によつて恐怖心をかりたてるだけでなく、登場人物の微妙な心理の起伏が不氣味なサスペンスとなつて大きな役割を果していることだ。これに加えて、ライティングや音樂のアレンヂメント、更に画面の構圖の美しさはヒッチコック作品の傑れた「特色」といえる。この作品で四一年度のアカデミー賞を得たジョーン・フォンテーンの演技は、同賞に値いする演技かどうかは別にしても、いつの間にか立派な女優となつたことに驚かされる。(RKOラジオ映画、十巻)

征服 ☆☆

Marie Walewska

英傑ナポレオンの多彩な生涯を通じてたゞ一度の戀といえるマリー・ワレウスカとの戀を扱つた映画で、ナポレオンにシャルル・ボアイエ、ワレウスカにグレタ・ガルボが扮しているところに大きな魅力がかゝつているが、澁滞勝ちな脚本とクラレンス・ブラウンの歯切れの悪い演出で、全篇色褪せた感銘しかうけない一九三七年度作品である。(MGM映画、十一巻)

大黒東洋士

新着映画紹介 (4)

嵐の青春

Kings Row

ワーナー・ブラザース映画

解説

「Gメン」「風雲児アドヴァース」「母の素顔」「情熱の航路」の**ハル・B・ウオーリス**が製作したワーナー社一九四二年度作品、**ヘンリー・ベラマン**の同名の小説を「情熱の航路」「小麥は緑」「サラトガ本線」の**ケイシー・ロビンスン**が脚色し、「俺は新兵」「世界に告ぐ」の昔から最近の「カサノヴァ・ブラウン」「ゲスト・ワイフ」を經て「サラトガ本線」で一九四五―六年度のベスト・テン監督としてフィルム・デイリー社から發表された**サム・ウツド**が監督に當つた。撮影は**ジエームス・ウオン・ホウ**、作曲は「コンスタント・ニムフ」同様**エーリツヒ・ウエルガング・コーンゴールド**。

主演の**アン・シエリダン**は數多のパラマウント映画やキャグニィの「汚れた顔の天使」に出演し、輕喜劇に於てはその性的魅力故に「ウンフ・ガール」と呼ばれてゐる女優。近作には「とり入れ時の月」「婦人歩兵」等がある。**ロバート・カミングス**は「海の魂」「マドリッド最終列車」や先般封切された「肉體と幻想」に出演してゐる。**ロナルド・リーガン**は元ラヂオのスポーツ・アナウンサーでこの映画で初めて日本に紹介される新人。**ベテイ・フイールド**は「肉體と幻想」「南部の人」で印象が新しい。その他「コンスタント・ニムフ」「ラプソディ・イン・ブルー」の**チャールズ・コバーン**、「幽靈紐育を歩く」「夜霧の港」の**クロード・レインズ**、「嘆きの白薔薇」「征服」の、**マリア・オウスペンスカヤ**、舞台出の**ジユデイス・アンダースン**と**ナンシイ・コールマン**、「征服」の**スコテイ・ベケツト**少年などが助演してゐる。**十三巻**。

配役

ランデイ・モナガン	アン・シエリダン
パリス・ミツチエル	ロバート・カミングス
ドレーク・マツキユー	ロナルド・リーガン
カサンドラ・タワー	ベテイー・フイールド
醫師ヘンリー・ゴードン	チャールズ・コバーン
醫師アレギザンダー・タワー	クロード・レインズ
ハリエツト・ゴードン夫人	ジユデイス・アンダースン
ルイズ・ゴードン	ナンシー・コールマン
フオン・エルン夫人	マリア・オウスペンスカヤ
スケフイントン大佐	ハリー・デベンポート
エリーズ・サンダー	カーレン・ヴアーン
モナガン	アーネスト・ロツサート
パリス(少年)	スコテイ・ベケツト
ドレーク(少年)	ダグラス・ウイート
カサンドラ(少女)	メアリ・トマス
ランデイ(少女)	アン・トツド
ルイズ(少女)	ジヨーン・デユヴアール

梗概

米國中部のキングス・ロウといふ何事もないような靜かな小さな町にも幾多の事件が隠されてゐる。一八九〇年にはパリス・ミッチエルは八歳の少年だつた。彼は祖母と家政婦の三人暮しだつた。彼は學校友達のカサンドラが好きだ。彼女の父のタワー博士は醫師であつたが開業はしてゐず、夫人は二階に閉じ籠つたまゝ人に顔を見せたことがなかつた。噂ではタワー夫人は狂人だと云はれてゐた。カサンドラが、父の命令で學校を退いて家庭で勉強することになつたと聞かされた時、パリスは、もう彼女に會へないと考えて悲しかつた。

十年經つた。パリスは醫師志望でウィーンの醫科大學へ遊學する積りだつたので、祖母と相談の結果、タワー博士に受験準備の勉強をみて貰ふことになつた。彼が初めてタワー博士を訪れた時、扉を開けてくれたのは懐しいカサンドラの成長した姿だつた。だが彼女は、何かしら挨拶もせず自分の部屋へ隠れてしまつた。そしてタワー博士も、彼に戸外から書斎へ通じる扉だけを使ふ様にと言つた。パリスは暗い影を感じた。

パリスは小學校時代の親友ドレーク・マッキューと再び親しくなつた。ドレークは町では不良青年だと云はれてゐたが、パリスは彼の屈托のない明るい性質が好きだつた。彼は町の開業醫のゴードンの娘ルイズを愛してゐた。だが彼女の兩親は、彼を嫌つて娘との交際を禁じてしまつた。

ある夜パリスは、タワー博士が旅行に出てゐる留居中に暫くの間カサンドラと話をすることが出來た。二人の間には、幼い頃の愛情が再び大人の愛情となつて燃えた。だがパリスが學業を終へたら結婚してほしいと言つた時、彼女はヒステリックな調子で強く拒絶した。

ウィーンへ出發する時が近づいた頃、パリスの祖母は癌のために死んだ。たゞ一人となつたパリスは一時親友のドレークの家に寄宿することになつた。ある夜出發の準備をしてゐるところへ、昂奮したカサンドラが來て、一緒に歐洲へ連れて行つてくれと言つた。パリスは彼女の様子に異常なものを感じて彼女をなだめて家え歸した。その夜、カサンドラは父タワー博士のために毒殺され、博士は拳銃で自殺した。パリスには博士のノートによつて、タワー家の全財産が讓られた。博士のノートによつて、タワー夫人が果して精神病者だつたこと、カサンドラにもその徴候が現はれたので彼女がパリスと結婚する事に依つて、パリスが博士と同じ境遇になることを恐れ、娘の命を斷つたことをパリスは知つた。だがその事件の打撃は大きかつた。彼は前から望んでゐ

Charles Boyer

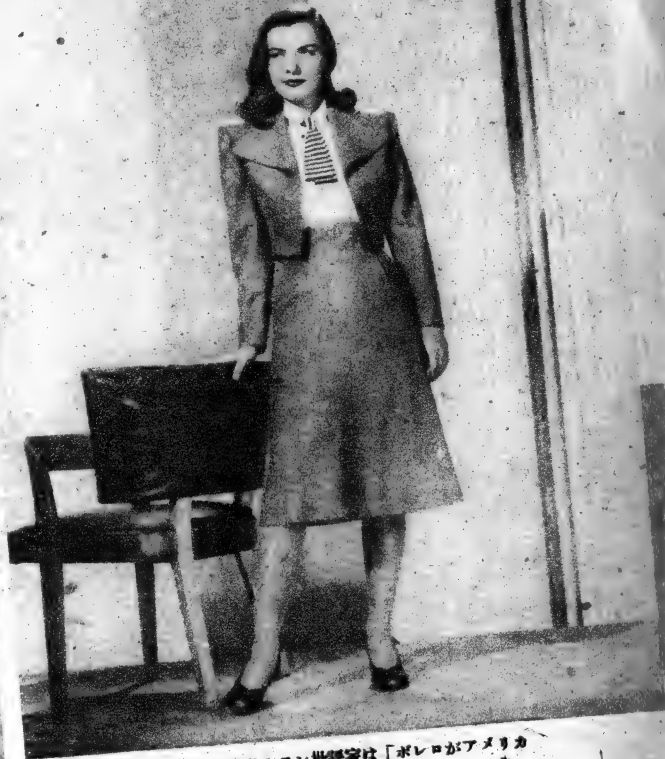
(U. A. Star)

シヤルル・ボアイエの主演映画は終戦後既に三本も封切られているが(「うたかたの戀」を含む)、更に近く「征服」と「永遠の處女」の二本が封切られることになつている。ボアイエ程の大スターで、僅か一年間にこんなに澤山の主演映画が封切られたのも珍しい。彼の最近作はイングリッド・ベルグマンと共演の「凱旋門」だ。

ゲイリー・クーパーは、今もなお偉大なる人氣をもつているスターだ。本誌輿論調査においても彼は男優のトップをきつているが、「ヨーク軍曹」「誰がために鐘は鳴る」等の主演映画がきたら、彼の人氣は更に倍加するだろう。「モロッコ」の昔から20餘年、彼くらい萬人から愛されてきたスターも少い。

Gary Cooper

(Paramount Star)

スカンジナヴイヤ風のデザインを持つこのスエーターは
こと數年來のアメリカの流行。地の色は明るい華やかな
オレンヂ、コバルト・ブルウ、ライト・レツド、エメラル
ド・グリーン……。それにブラツク・アンド・ホワイト
のアクセント。靴はエナメルではない。プラスティツク
のしなやかな、ヒマのいらないあちらの新製品である。
モデルはスザンナ・フオースター。

アメリカの一フアツション批評家は「ボレロがアメリカ
女性の國民的衣服」といつている。ラペルの持つ曲線美
が釀しだす新鮮なふん圍氣。そしてその中心を形成する
眞紅と白のネクタイの引力。まさにグレイ、眞紅、ホワ
イトのテクニカラー・シムフオニーともいうべきもので
あるスカートのプリートはサイド・ポケツトのためにあ
るもの。モデルはエラ・レインズ。

若さはアポロを捕える最も
強力な武器。若さの發散す
る美はシンプルでピユア。
この若さと美には、アクセ
ントだけあればいい。ゴテ
ゴテした飾りはいらない。
グレイを基調としたこのシ
ンプルなスーツ。ブラツク
をアクセントにしたボタ
ン、ボタン・ホール、手袋、
バツグ……グレイとブラツ
クのキーの上を、「若さ」と
「美」のニムフがピチピチ踊
る。モデルはグロリア・ジ
ーン。

Fashion Note

石原裕市郎

あちらでは女學生の通學服であるが、わが國では制服を脫ぎ、ロマンテイクを愛するお孃さんがよく身につけるドレス。花模様もそのアレンジも平凡であるが、花の色を賢明に組合せることによつて、素晴らしい效果があがる。薄いネヴイー・ブルウの地に白・黃・オレンヂの花、白・薄綠・ピンクの花……要は白がつねにアクセントになり、それが白絹のブラウスの反響となる。モデルはグロリア・ジーン。➡

⬆

日本のお孃さんによく着られる形で、ありきたりのドレスであるが、どこかにフレッシュな匂いがする。誰でも考える花の圖案化であるが、目に新しいものを與える。その秘密はなんでもない。花のあしらい方、ポケットの花と、その形である。もし裾に花をあしらつたら、チロルの少女を想わせるであろう。花は女性と離しては考えられない。モデルはヘギイ・ライアン。

ファッション・クリニツク
今年のモードのテーマ

ヨーロッパの文化はフランスが代表し、アメリカ兩大陸の文化は合衆國が代表する。ファッションの源泉はパリーとされていたが、今ではアメリカにその地步を相當ゆずつている。そしてフランスのモードはアメリカへ渡り、アメリカのファッションはフランスへ流れ、相互に影響を與えあつている。しかし、アメリカの婦人は絶えず眼をパリーに向け、新しいものを消化し、アメリカ的新味を加える。同じようにパリーの女性もハリウッドのデザインに對し、關心を寄せている。

一九四七年のパリーにおけるモードは如何なるテーマの上にたつかを、ロスアンゼルス・タイムス紙が傳えているが、同紙パリー特派員に語つたパリーの一婦人服デザイナーの言葉は「優美とローマンティックな感じが、服飾の上にあふれるであろう」である。戰火に荒されたフランスの女性は、やさしさとあまさを求めている。アメリカの大新聞が、この記事を日曜日の特集版に扱つているところに、パリーにそゝがれるアメリカ婦人の視線を感じずには居られぬ。「優美・ロマンティシズム」という言葉の內側には古典の香りがする。そして又、本來の女の「淑やかさ」が微光を放つている。パリーとハリウッドが世界のモードを左右するのであるから「優美とロマンティシズム」の波は、七つの海を渡つて波紋をえがくであろう。このページの寫眞はすべてハリウッドを彩どるファッションである。その中には既に「優美とロマンティシズム」の息ぶきさえ感ずる。オレンヂの花咲く南キャリフォルニヤの陽の下に、深く呼吸するロマンティシズムは、明るく健康で、雲の黎明の如くフレッシュである。ファッションの女神はつねにフレッシュネスのなかに棲む。フレッシュネスを忘れることは、モードの女神を求めながら、これを追いだすことである。フレッシュネスのコートをおおい、ロマンティシズムの香氣をたゞよわせ、優美な線と色と型のなかから「一九四七年のヴィナス」は生れる。そして彼女は春風にのり地球の隅々に、足あとを殘すであろう。「グレイスフルネス」と「ロマンティシズム」の年である。そして、それにプラスの「フレッシュネス」の春である。

上陸がオランダであるとの虚僞の噂を流布し、同時に獨軍のV二號の發射指揮所の所在を探る。遂にそれがモン・レヴェック町のマドレイヌ街十二番地である事が判る。諜報部員のボッブ・シャーキー（**ジエイムズ・キヤグニー**）はゲスタポに捕えられ、この本部へ連行されて拷問に會う。倫敦では彼の捕えられた事を知り、人間の肉體がどの位の苛責に耐えられるかを知つて居たので、涙を呑んで爆擊隊にマドレイヌ街十二番地を爆擊させる。ボッブはゲスタポの連中と共に粉碎させる――と云うヒロイックな物語である。

ジェイムズ・キャグニーは、この役を例の如き迫力で演じて居る。彼は自分の訓練して居る部下の一人ビル・オコンネル（**リチヤード・コンテ**）と稱する男が、實はアメリカ人を装う獨逸の密偵である事を知る。コンテの演じるこの獨逸のゲスタポは、時としてキャグニーを喰つて終うほどの出來ばえであると云はれる。

アナベラがゲスタポ本部を發見する爲に命を棄てる哀れなフランス娘に扮し、**ウオルター・エイベル**が諜報部長に扮し、どちらも印象的である。

監督の**ヘンリー・ハサウエイ**はセットを使はず、倫敦の場面はボストンに、フランスの場面はカナダのケベックにロケーションしたが、このロケイションは著しく記錄映画的の效果を擧げるのに役立つた。撮影監督は**ノーバート・ブロダイン**で、上映時間は一時間三十五分である。

MGM映画

湖中の女

"The Lady in the Lake"

アメリカの探偵作家として現在一流の人氣のある**レイモンド・チヤンドラー**の原作を、**スティーヴ・フイツシヤー**が脚色し、**ロバート・モンゴメリー**の監督としての第一回作品であるが、これは珍しい一人稱映画である。三四ケ所は、普通の敍述的手法があるが、これを除いては、全篇が一人稱で構成されて居る。主人公のフィリップ・マアローにはモンゴメリーが扮して居るが、彼はキャメラの眼と成つて、殆んど画面には姿を現さない。彼の聲だけが他の出演人物に向つて常に何かを諜つて居る。從つて映画の觀客は、モンゴメリーの見る位置から常に画面を見る事に成る。モンゴメリーが歩くと、彼の近づく目的物が觀客に接近して來る。彼の眼が室の中を右から左へ動けば、キャメラも右から左へと働くのである。彼が誰かに話しかければ、話しかけられた對手は、キャメラのレンズに向つて返事をする。

この手法は前にも或る映画の一部に使用されたことはあるが、全部に亘つて使われた事は始めてである。その意味で一つの革命的な試みと云える。然しこの手法にも幾つかの缺點はある。一例を擧げれば、主人公が格鬪する時である。キャメラが對手と格鬪する事に成るからである。

筋は簡單である。私立探偵のフィリップ・マアロウは、ある雜誌の社長の妻が行方不明になつた時、その捜査を依頼される。彼が捜査を始めると、色々と不思議な殺人事件に捲き込まれるが、遂に彼はその事件の秘密を解決し彼を雇つた美しい婦人と戀に陥る。

モンゴメリーの相手役は**オードリー・トツター**と云う新進女優であるが、彼女は一人稱映画のお蔭で、モンゴメリーと對談する時には常に一人で画面を占め、スターのモンゴメリーよりも遙かに餘計スクリーンに現われると云う好機に惠まれた。美しくもあり、藝も優れて居て未來のある女優だそうである。

ロイド・ノーランが警察の探偵に扮し、その他**レオン・エイムス**、**ジエイン・メドウス**、**デイツク・シモンス**等が出演して居る。

この映画の功績は撮影監督の**ポール・C・ヴオーゲル**に負うところが多い。自由自在のキャメラの驅使が、映画の面白さに寄與した事は甚大である。上映時間一時間四十五分。

「湖中の女」のスナツプ、左よりロイド・ノーラン、ポール・ヴオーゲル、椅子の人が監督主演のロバート・モンゴメリー

Studio News

☆パラマウント社

◇**アラン・ラツドとヴエロニカ・レイク**の共演する「**サイゴン**」"Saigon"が、**レスリー・フエントン**の監督で開始された

◇ハル・ウオーリス、プロダクシン「**我れは一人歩む**」"I Walk Alone"が**バイロン・ハスキン**の監督で開始された。**リサベス・スコツト**、バート・ランカスター、カーク・ダグラスが主演する。

◇ハル・ウオーリス・プロダクシンの「**完全なる結婚**」"Perfect Marriage"が發賣された。**ルイズ・アレン**の監督する家庭喜劇で、**ロレツタ・ヤング**とデイヴイヴイツト・ナイヴンが主演して居る。

☆二十世紀フオツク社

◇**グレゴリー、ラトフはヴイクター・メイチユア**、ペギー・カミンス、エセル・バリモア、ヴンセント・プライス等の主演する「**モス・ローズ**」"Moss Rose"の監督を始めた。

◇**ジヨン・ペイン**と**モーリン・オハラ**とは**ジヨージ・シートン**の監督する「**人の常**」"It's Only Human"に主演中である。

◇**タイロン・パワー**の主演するテクニカラーの「**カステイルから來た船長**」が愈々**ヘンリー・キング**の監督で開始された。ジーン・ピータース、シーザー・ロメロ、アントニオ・モレノ、アラン・モーブレイ等が共演する。

◇**ジーン・テイアニーとレツクス・ハリスンはジヨゼフ・マンキーウイツツ**の監督で「**幽靈とミユア夫人**」"The Ghost and Mrs. Muir"に着手した。

◇**監督ウイリアム・カイリー**は二十世紀フオツクスと長期契約を結び、第一回作品として、ウイリアム・リンゼイ・グレシヤムのベスト・セラー「**惡夢の横町**」"Nightm are Alley"の監督をする事に成つた。

◇「**美しい航海**」"Enchanted Voyage"が「**目を覺して夢を見よ**」"Wake Up and Dream"と改題して發賣された。テクニカラーの喜劇で**ロイド・ベイコン**の監督作品。**ジヨン・ペイン**、ジユーン・ヘイヴアー、シヤーロト・グリーンウツド、子役のコニー・マーシヤルが主演して居る。

☆ユナイテツド・アーチスツ社

◇ネロ・フイルム（セイマー・ネベンツアル・プロダクション）の「**天のみぞ知る**」"Heaven Only Knows"が**アルバート・ロージエル**の監督で開始された。ロバート・カミングス、ブライアン・ドンレヴイー、ジヨリア・カートライト、ヘレン・ウオーカー等が主演して居る。

☆ウオーナー・ブラザース社

◇**ハンフリー・ボガート**と**ローレン・バコール**とは**デルマー・デイヴス**の監督する「**暗い道**」"Dark Passage"に着手した。アグネス・ムアヘツド、ブルース・ベネツト等が助演して居る。

◇**アン・シエリダン**、**ザガリー・スコツト**、ルウ・エアーズは**ヴインセント・シヤーマン**の監督する「**不實な女**」"The Unfaithful"に主演中。

「素晴らしい人生」のジエームス・スチユアートとドンナ・リード

New Films in New York 紐育封切映画御案内

RKO・リバテー社映画

素晴らしい人生

"It's a Wonderful Life"

フランク・キヤプラ、**ジョージ・スティーヴンス**、**ウイリアム・ワイラー**、**サミユエル・J・ブリスキン**の四人の有能な映画人が協力してリバティー映画社を設立し、これがその第一回作品である。

キヤプラは長い間陸軍に從軍して居たが、これは彼の數年振りの監督作品であり、同時に**ジエームズ・スチユアート**の五年振りの主演映畫でもある。スチユアートも陸軍に從軍して、大佐に迄昇進して除隊に成つたのだ。

キャプラの作品には「オペラ・ハット」「スミス氏ワシントンへ行く」「我が家の樂園」等で知られるように、一貫した主張が盛られて居るが、この作品も同傾向のもので、人のまごころが主題と成つて居る。

物語は天國に始まる。天國の人々が地上に居る或る男の事を話して居る。ジョージ・ベイリー（**ジエームズ・スチユアート**）と云う男が困つて居るが、あれは善い男だから助けてやろうと衆議一決する。そして新米の天使のクラレンス（**ヘンリー・トラヴアース**）が選ばれて、ジョージ救援に地上に下りて行く事に成る。クラレンスは、まだ羽も生えない新米だが、自分がこれから助けてやるジョージと云う男は、一體どんな經歴の男だか、參考の爲に知りたいと云う。そこでジョージの前半生が展げられるのである。

ジョージは子供の時、溺れる弟を助ける爲に湖水に飛び込み、この爲少し耳が聾になつたので第二世界戦爭が始まつた時も軍隊に動員されないで濟んだ。彼は子供の頃からの戀人（**ドンナ・リード**）と結婚し、ベドフォード・フォールスと云ふ代表的なアメリカの小さい町に四人の子供を持つて暮して居る。彼は建築金融會社の經營を引き受けて居たが、町の銀行家（**ライオネル・バリモア**）に虐められて、快々として樂しまない。遂に耐り兼ねたジョージは、自分は此の世に生れなければ良かつたと叫ぶ。天使のクラレンスは此の望みを叶えてやるが、死んで見ると、ジョージには、今まで無意味だと思つて居た自分の生活が、他人にとつては如何に必要であつたかが判り、自分の失言を取消すことに成る。この功によつてクラレンスは美しい一對の羽を與えられ、初めて一人前の天使に成れる。

俳優は以上の他に、**トマス・ミツチエル**が酔拂ひのビリー伯父に、**ビユーラア・ボンデイ**がジョージの母に扮し、**ロード・ボンド**、**H・B・ウオーナー**、**フランク・アルバートスン**、**フランク・フエイレン**等が小さい町の人々を演じて居る。

ドミトリ・テイオムキンの作曲は、この世のものと思われぬ程の効果を擧げ、**ジョーゼフ・ウオーカー**の撮影も素晴らしい。キャプラ作品としても第一級に位するもので、上映時間は二時間十二分である。

二十世紀フォックス映画

マドレイヌ街十三番地

"13 Rue Madeleine"

この映画のプロデューサーたる**ルイ・ド・ロシユモント**と、監督の**ヘンリー・ハサウエイ**とは協力して四五年に「九十二丁目の家」"The House on 92nd Street"を作り、記錄映画的の手法を劇映画に盛つて好評を博したことがあるが、この「マドレイヌ街十三番地」もマーチ・オヴ・タイム式の手法で迫眞力を昂めて居る。

これはアメリカの諜報部の活躍を描いたもので、**ジョン・モンクス・ジユニア**と**サイ・バートレツト**の書卸しシナリオである。映画は先づ諜報部員の訓練振りを示す。卒業した數名は倫敦に派遣され、そこから獨軍占領下のフランスに落下傘で降下して、聯合軍の

つて行くタクシーに向つて、別れの手を擧げた時、一同の眼は始めて彼の手の鉤を認め、驚きの餘り誰も口が利けなくなつた。ホーマーの母は、悲しみに聲を擧げて泣き出した。

アルは同じように溫かく迎えられはしたものの、何だか全身的に打ち解けない何かを感ぜざるを得なかつた。妻のミリーは以前と變らぬ美しさであつたが、娘のペギーは少女から今は一人前の娘に成長して居るし、息子ポップも、ませた口を利いて父親を吃驚させた。四年と云う長い歳月は、父と子供たちの間に、何となく他人行儀を感じさせるのであつた。この氣まずさを破ろうと、アルは妻と娘を無理に誘つて、祝賀會をやろうと云つて町のナイト・クラブに出かけて行く。

フレッドを迎えたのは、酒浸りの父親と、だらしのない繼母だけであつた。彼の妻のマリーは、ずつと前に家を飛び出して、どこかのナイト・クラブで働いて居ると聞かされて、彼は彼女を搜しに夜の町へ飛出して行く。

その晩遲く、フレッドはマリーが發見出來なくてブッチの店へ來る。そこへホーマーが父母が餘りに氣を使つてくれるのが耐らなくなつて逃げて來る。最後にアルが、少し醉拂つて妻と娘を連れて現われる。アルは「戰友」の爲に次から次に酒を注文し、一緒に歌を唄えと云つて二人を壁易させた。

ブッチが店を閉める頃には、フレッドとアルとは完全に醉拂つて居た。ミリーとペギーは二人を車に乘せて自宅へ連れて歸る。動けなくなつたフレッドは、ペギーの部屋に寢かされ、ペギーは客間の長椅子に寢た。

眞夜中にペギーは叫び聲で眼を覺した。フレッドが戰爭の惡夢にうなされて居るのだ。彼女は優しくフレッドを搖り起し、彼を慰めて寢つかせてやる。

翌朝、フレッドはペギーに彼女の心遣いを感謝した。二人は互いに索きつけられるのを感じ、それ故に故意によそよそしい振舞をするのであつた。

その日の午後、フレッドはマリーを安つぽいアパートに發見した。教育のないマリーと口を利いて居ると、彼はつい先刻まで一緒だつた洗練されたペギーと比べて何と云ふ違いだろうと感じないでは居られなかつたが、妻に熱つぽい眼をされると、思はず彼はマリーを兩腕に抱きしめるのであつた。

三人が歸宅して一ケ月經つた。三人とも軍服を脱ぎすて、背廣服は着て居るが、まだどうしても普通の生活には溶けこめない。フレッドは軍隊にはいる前は、ソーダファウンテンの賣子であつたが、職業前の仕事に歸りたくなくて、仕事を搜して居たが、仕事が見付からない。持つて居た金も殘り少なくなつて、彼は段々焦り出して來る。アルは銀行に歸つて副社長にな

Studio News

☆コロンビア映畫會社

◇ロバート・ヤング、マーガレット・チヤプマン、ウイラード・パーカー、アキム・タミロフ等はジョージ・シヤーマンの監督するテクニカラーの「三人は純血種」"Three Were Thorough breds" に主演中である。

◇デイツク・ポーエル、シグニ・ハツソ、ウラジミル・ソコロフ等はロバート・スチイヴンスンの監督する「財務省に奉職して」"Assigned to Treasury" に主演中。亞片密輸入業者と取締官憲の闘爭を描いた活劇である。

◇「ジヨルスン物語」に主演したラリー・パークスは、テクニカラーの大作「劍士」"The Swordsman" にジヨーゼフ・ルイスの監督で主演中である。これは十八世紀のスコツトランドを背景とした劍劇で、エレン・ドルウが對手役を演じるほか、ダンサーのマーク・プラツトが初めて俳優として登場する。

☆M・G・M社

◇前號で報道したジヤネツト・マクドナルド主演の「鳥と蜂」"The Birds and the Bees" (テクニカラー) は、フレツド・ウイルコツクスの監督で開始された。アラ・トツドは都合で出演を中止したが、ピアニストのホセ・イチユルビとエドワード・アーノルドがキヤストに加へられた。

◇ロバート・Z・レオナードはエリザベス・テイラー、ジョージ・マーフイー、メエリー・アスター、ジーン・ロツクハート等を主役として「豐かな充分な生活」"The Rich, Full Life" の監督中である。

◇十五年前にウオーレス・ピアリーとジヤツキー・クーパーの作つた「チヤムプ」が、今度は「強いマツガーク」"The Mighty McGurk" と云う題名で再映畫化された。ウオーレス・ピアリーが同じ役を演じるが、少年は「育ち行く年」に出演したデイーン・ストツクウエルで、エドワード・アーノルド、アイリーン・マクマホン等が助演する。今度の監督は新人ジヨン・ウオータース (前作はキング・ヴイダーであつた)

☆ユニバアーサル・インタナシヨナル社

◇バツド・アボツトとルウ・コステロの二人組はチヤールス・バートンの監督で「兵隊の歸郷」"Buck Privates Come Home" を開始した。ジヨーン・フルトン、トム・ブラウン、ナツト・ペンドルトンの助演する喜劇である。

◇英國映畫「魔法の弓」「灰色服の男」「彼等は姉妹」等に主演したフイリス・カルバートは、ロバート・ジオドマークの監督で「日々に疎し」"Time Out of Mind" に主演中である。ロバート・ハツトン、エラ・レインズ、エデイー・アルバート、レオ・キヤロール等が共演して居る。

◇ジヨーン・フオンテインはサム・ウツド監督で「アイヴイー」"Ivy" に着手した。ハーバート・マーシヤル、パトリツク・ノールス、リチヤード・ネイ、セドリツク・ハードウイツク等が助演して居る。

名作誌上プレヴユー・アカデミー賞候補作品

我等の生涯の最良の年

The Best Years of Our Lives

田村幸彦

「我等の生涯の最良の映画の一つ」とさえいわれてゐる問題の映画

【解説】

この映画は、**サミユエル・ゴールドウイン**が自分の原案を、**マツキンレイ・カンター**をして小說に書かせ、「エイブ・リンカン」の脚色をしたアメリカ一流の劇作家たる**ロバート・E・シヤーウツド**に脚色させ、「小さい狐たち」を監督した**ウイリアム・ワイラー**が、復員後最初の作品として監督したもので、アメリカが現在當面する復員兵士の問題をテーマとした大作である。

撮影監督は「市民ケーン」で腕を揮つた**グレツグ・トーランド**。製作スタフから云つても、アメリカ映画の最高水準を行くもので配役は次の通りである。

ミリー・スティヴンスン……マーナ・ローイ
アル・スティヴンスン……フレドリック・マーチ
ペギー・スティヴンスン……テレサ・ライト
フレツド・デリー……デイナ・アンドルウス
マリー・デリー……ヴアージニア・メイオ
ウイルマ・キヤメロン……キヤシー・オドンネル
ブツチ・エングル……ホーギー・カーマイケル
ホーマー・パーリツシユ……ハロルド・ラツセル
ホーテンス・デリー……グラディス・ジヨージ
パツト・デリー……ローマン・ボーネン
ミルトン氏……レイ・コリンズ
パーリツシユ夫人……ミンナ・ゴムベル
パーリツシユ氏……ウオルター・ボールドウイン
ボツブ・スティヴンスン……マイケル・ホール

【梗概】

戰爭は終つた。フレッド・デリー大尉は彼が出征する二十日前に結婚した妻のマリーの許へ歸ろうと、ある民間航空會社の切符賣場へ出かけて行つた。大尉の制服の胸には第八航空隊の翼の徽章に、二年間の武勳を物語る數々のリボンがつけられて居たが、航空會社では彼に優先權を與えなかつた。當分飛行機の予約が取れない事が判つたので、止むなくフレッドは陸軍航空輸送隊へ便乘を頼む事にした。輸送機は旅客機ほどは早くはないが、うまく便があれば、無料で乘せてくれるだろう。

輸送隊では折よく彼の故郷ブーン市に向ふB一七のあることが判つた。彼が乘り込んで見ると、ブーン市行きの兵隊が二人乘つて居た。一人はアル・スティヴンスン軍曹で、もう一人はホーマー・パーリッシュと云う若い水兵だつた。

アルは出征する前はブーン市のコーンベルト銀行の幹部で、妻のミリーと、娘のペギー、息子のボッブが彼の凱旋を待つて居る。子供たちは彼の出征中に、見違える様に大きく成つて居るに違いない。ホーマーは太平洋で彼の乘つて居た船が急降下爆撃機に襲われた時、兩腕を吹き飛ばされて、今は指の代りに鐵の鈎がついて居る。彼はマッチをつける事も、コップを持つ事も出來るが、戀人のウィルマにはこの事を知らせてないから、彼女がこの事を發見した時にはどんなに驚くだろうか、それが惱みの種である。

永い旅の間に大尉と軍曹と水兵の三人は、すつかり打ち解けて、翌日の午後、飛行機がブーン市に着く頃には、互いに名を呼び捨てにする程の友達に成つて居た。三人は飛行場から一台のタクシーで町へ歸つて來る、そのうちブッチの酒場で再會しようと約束までした。

三人は一人づゝ自宅の前でタクシーを降りた。ホーマ水兵が楡の並木道の古い家の前で最初に降り、アル軍曹は住宅街の瀟洒なアパートの前で、最後にフレッド大尉が場末の軒の傾いた小屋の前で降りた。

彼等の歸宅は、彼等の家と同じ位、違つた形で迎えられた。ホーマの兩親と、妹のルエラとは、彼が着いた時家の前に並んで居た。彼の戀人のウィルマは、隣りの家から驅け出して來て、嬉しそうに彼に抱きついた。ホーマーが遠ざか

Pires
PIRES
感覺的な色彩と
ストロベリーの芳香を
持つミナサマの
ピアス口紅
大阪 ピアス化粧品本舗 東京

皮膚も成長する春、新しき榮養クリームを
ポモナクリーム
★バニシング
★エモリエント
東京 ポモナ化粧料本舗 丸ノ内

化膿症
濕疹・外傷に
其の他
丹毒・水虫
凍傷・火傷
TAPECILLINE
タペシリン
TAPECILLINE
20瓦入10圓
タペシリン軟膏
日本ハツプ藥工業株式會社
東京・杉並區方南町一九六

Naris
ナリス
粉白粉
キツト貴女のお氣に召す
N
大阪 命陽化學研究所

り、貸附部長に昇進した。彼の仕事は主として復員軍人に對する貸附事務であつたが、銀行の方針が彼の考えと一致しないので、内心面白くない。ホーマーは、ウィルマの自分に對する愛情を、憐れみの念からだと取り違え彼女に結婚を申込む事を拒絶する。

フレッドは金が到頭なくなつた事をマリーに告げる、そして生きんが爲に、心にもなく昔のソーダファウンテンに歸つた。彼はその店の香水賣場の主任に昇進して、ある日ペギーが買物に來た時、一緒に晝食を共にする。二人は別れる時、お互に愛し合つて居る事をハッキリ認識した。

ペギーは妻のある男と戀愛しては不可ないと自分に云い聞かせ、氣分を清算する爲にフレッドとマリーを晩餐に招待した。彼女の考えでは、フレッドが妻と一緒に居る所を見れば、自分の彼に對する氣持が一時の熱情に過ぎない事が判るだろうと思つたのだが、その結果は反對で、彼女はマリーが心からフレッドを愛して居るのではなく、金錢のある男を捜して居るのである事と、自分のフレッドに對する氣持は、決して一時の熱情でない事を改めて知ることが出來た。彼女はフレッドを幸福にする決心であると父母に打明けて、父母を驚かせる。

アルはフレッドに近寄らんでくれとペギーに申渡した。フレッドは父としてのアルの立場を了解した。彼は電話でペギーを呼び出し、自分の事は忘れてくれと云つた。

ある日、フレッドの勤めて居る店で、客の一人がホーマーと喧嘩をした。フレッドはホーマーの味方をして對手を倒したが、香水の職が滅茶滅茶になつたので馘になる。ホーマーは不具の自分を救おうとしたフレッドが職を失つた事を心から濟まなく思つたが、フレッドは、そんな事を心配するより、ウィルマに結婚を申込めと云う。ホーマーは申込むと約束して家へ歸ると、そこへウィルマが訪ねて來る。彼女は自分の兩親がホーマーを忘れろと云うが、ホーマーの本心はどうなのか、今日こそ聞かせてくれと云う。ホーマーは、彼女が不具の自分をそんなに想つてくれることを初めて知るが、如何に自分が兩手がなくて不自由か、こんな不具でも構わないかと云つて、ジャツを脱いで、鈎を動かす革紐を見せそれを外して見せる。然しウィルマは驚かなかつた。二人は遂に心からお互いを理解しあつたのだ。

一方フレッドはアパートへ歸つて見ると、マリーが見知らぬ男と一緒に居るのを發見する。彼は初めて妻の不信を知る。ホーマーが結婚の介添人に成つて貰おうと、フレッドを訪ねた時、すでにフレッドは其所に居なかつた。彼は飛行場へ向つて居たのだ。

飛行場でフレッドは多くの空の要塞が廢棄處分にされつゝあるのを見た。彼は解體作業に雇つてくれと申出た。工事監督は戰車隊の士官だつた荒武者だつたが、彼はフレッドの決心と勇氣が氣に入つて、フレッドを雇つた。

ホーマーの結婚式の日、フレッドは介添人として花婿の横に立つて居た。そこにはアルの一家も來て居た。ブッチが結婚行進曲を彈いた。アルとミリーとは自分たちの結婚式を想出した。フレッドは、牧師が「比翼連理の契りを結び、富める時も貧しき時も——」と、祝福をホーマーとウィルアに與えて居る時、ペギーの肝が同じ言葉を彼に向つて呼いて居るのを聞いた。

×

この映画は二時間五十二分と云ふ長尺であるが、「**我等の生涯の最良の映画の一つ**」と云われるほどの傑作で、昨年十一月二十一日から紐育のアスター劇場でロング・ランを續けて居る。今年のアカデミー賞は、この映画が獲得するとの呼聲が高い。

★本號の輿論調査の結果發表は、終戰後最初の本格的なアメリカ映画の輿論調査として、多大の示唆を與えることゝ思う。これこそ僞りのないファン大衆の聲である。

★今月號は新着アメリカ映画の紹介に重點をおいてみた。それぞれ期待すべき雄篇だが、中でも「アメリカ交響樂」はアメリカ近代音樂の眞髄を傳える作品として誠に意義深いものがあるので、特にこの一篇を特集してみた。

★アメリカ映画紹介誌が他にも二三出たが、何れも凡打程度で、本誌の壘を摩すような雜誌が一つも出ないのは、アメリカ映画のために殘念に思う。（大黑）

アメリカ映画專門紹介誌
映画之友　3月號　第5巻・第3號　通巻第170號
昭和21年7月30日　第3種郵便物認可
昭和22年3月1日　印刷納本
昭和22年3月5日　發行
發行者　橘　弘一郎
編集者　大黑東洋士
印刷者　小坂　孟
印刷所　大日本印刷株式會社
配給元　日本出版配給株式會社
東京都麹町區永田町2ノ1
發行所　映画世界社
直接購讀は半年分60圓1年分120圓（概算）小爲替にて御送金下さい。
本號一部金12圓（送料15錢）
★
編集部への通信及び連絡は下記へ
銀座連絡事務所
東京都京橋區銀座8ノ2（出雲ビル）
映画世界社　電話銀座(57)1616
營業部への通信及び御用件はすべて永田町本社へ願います。

Magazine for American Movies "Eiga no Tomo" (Friend of Movies) Published Monthly by Eiga Sekaisha Ltd., One Copy 12 Yen